

帝國議會貴族院議事速記錄第十五號

明治三十四年三月二十日(水曜日)

午前十時十八分開議

議事日程 第十六號 明治三十四年三月二十日

午前十時開議

第一 四年度各特別會計歲入歲出豫算案 <small>(政府提出衆議院送付)</small>	會議 <small>(豫算委員長報告)</small>
第二 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要件スル件 <small>(議院送付)</small>	會議 <small>(豫算委員長報告)</small>
第三 巡查看守退隱料及遺族扶助料法案 <small>(政府提出衆議院送付)</small>	第一讀會
第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第五 內務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律案 <small>(政府提出衆議院送付)</small>	第一讀會
第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第七 實業教育費國庫補助法中改正法律案 <small>(政府提出)</small>	第一讀會ノ續 <small>(特別委員長報告)</small>
第八 臺灣事業公債法中改正法律案 <small>(衆議院提出)</small>	第一讀會ノ續 <small>(特別委員長報告)</small>
第九 明治三十二年法律第一百一號中改正法 律案 <small>(政府提出衆議院送付)</small>	第一讀會ノ續 <small>(特別委員長報告)</small>
第十 議員選舉法別表中改正法律案 <small>(衆議院提出)</small>	第一讀會ノ續 <small>(特別委員長報告)</small>
第十一 民法中改正法律案 <small>(衆議院提出)</small>	第一讀會
第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	貴族院議長公爵近衛篤麿殿
第十三 所得稅法中改正法律案 <small>(衆議院提出)</small>	本院ハ水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案協議會委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也
第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	明治三十四年三月十九日 貴族院議長公爵近衛篤麿殿 衆議院議長片岡健吉
第十五 憲法上ノ保障ニ關スル上奏案 <small>(子爵谷千代君提出)</small>	明治三十四年三月十九日 同日政府ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ 明治二十九年法律第四號中改正法律案 右議院法第三十條ニ依リ撤回ス

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ報告致シマス

〔小原書記官朗讀〕

昨十九日本院ニ於テ衆議院ノ修正ニ同意シタル政府提出衆議院回付移民保

貴族院議事速記錄第十五號 明治三十四年三月二十日 議長ノ報告

護法中改正法律案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及同意ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

同日議員子爵谷千城君三好退藏君ヨリ三十名ノ賛成ヲ以テ足尾銅山鑄毒事件ニ關スル質問書ヲ提出セラレタルニ依リ即日政府ニ轉送セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

巡查看守退隱料及遺族扶助料法案

内務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律案同日同院提出關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案ヲ受領シタリ

同日同院ヨリ明治三十三年勅令第二百九十四條ハ承諾スヘキモノト議決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領シタリ

又同院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出、鍼下年期、新開免租年期、地價据置年期ノ延長ニ關スル法律案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

又同院ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治三十四年三月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿
本院ハ水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案協議會委員ノ數ヲ十名ト爲

スニ決セリ此段及通知候也

明治三十四年三月十九日

衆議院議長片岡健吉

同日政府ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ
明治二十九年法律第四號中改正法律案

右議院法第三十條ニ依リ撤回ス

明治三十四年三月十九日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
司法大臣男爵金子堅太郎

ヲ受領セル旨衆議院ニ通知シタリ

同日政府提出明治二十九年法律第四號中改正法律案ハ政府ヨリ撤回ノ通牒

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

東京都制案外二件特別委員會

委員長 公爵德川家達君

副委員長 子爵岡部長職君

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

豫算委員長
子爵谷干城

豫算委員長
子爵谷干城

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案特別委員會

員會

委員長 伯爵吉井幸藏君

副委員長 子爵三島彌太郎君

漁業法案特別委員會

委員長 子爵京極高典君

副委員長 村田保君

畜牛結核病豫防法案特別委員會

委員長 公爵二條基弘君

副委員長 子爵内藤政共君

○議長(公爵近衛篤麿君) 唯今報告致シマシタ水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案ハ衆議院ヨリ協議會ノ要求ガアリマシタ、當方ヨリモ協議會員ヲ選定スル必要ガアリマス、議長ニ於テ指名シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ指名シマス

〔太田書記官長朗讀〕

水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案兩院協議委員

公爵二條基弘君	伯爵正親町實正君	子爵相良賴紹君
子爵小笠原壽長君	男爵調所廣丈君	中村元雄君
男爵長松幹君	西村亮吉君	野崎武吉郎君
野村恆造君		

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ日程ニ移リマス、明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四年度各特別會計歲入歲出豫算案、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告、谷子爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタノ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四年度各特別會計歲入歲出豫算案

右案中別冊ノ通修正シ其ノ他總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月十九日

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

〔別冊略ス〕

○子爵谷干城君 諸君、唯今議題ニナツテ居リマスル此豫算委員會ノ大體ニ附イテ單簡ニ御報告ヲ致シマス、デ即チ既ニ諸君ノ御手許ニ配付ニナツテ居リマスル通、委員會ニ於キマシテハ、衆議院ノ案ニ附キマシテ修正ヲ加ヘマシテゴザンスル、デ其修正ヲ加ヘタル重モナルモノヲ舉ゲマスレバ、經常部ノ所ニ於キマシテ、内務、司法、大藏、農商務、此四省ノ中ニ於キマシテ御覽ノ通、ソレハ修正ニナツテ居リマスル、デ又臨時部ノ所ニ於キマシテ甲號ノ陸軍第四款、海軍ノ第十二款、是ガ又御承知ノ通大キナ修正デゴザンスル、デ此先ヅ内務、司法ノ所ニ於キマシテ、重モナル修正ヲ致シマシタ趣意ヲ申上ゲマスレバ、司法ノ方ニ於キマシテハ豫テ御承知ノ通、此少給判官其他書記等ノ薄給ナルコトニ附キマシテハ從來喧マシイ論モゴザンス、如何ニモ其儘ニ捨置カレスト云フ見込ヨリシテ政府當局者ニ於テモ篤ト調查ノ上、其事情ヲ酌取テカラニ此度豫算ニ提出サレタ譯デアリマス、又内務省ノ所ニ於キマシテハ府縣ノ郡長以下判任官ノ俸給、是レ亦物價ノ騰貴ヲ致シ、事務ノ次第ニ繁雜ニナルニ從ヒマシテカラニ、唯今ノ如キ俸給デハ到底相當ナル人間ヲ得ルコトガ出來ナイト云フ苦情ハモウ久シイ後トカラアツタサウデゴザイマス、デソレ等ノ事情ヲ酌取テ政府ニ於テハ必要ト認メテカラニ、之ヲ提出ニナツタコト、見エマスル、デ委員會ニ於キマシテ、ソレハ取掛リマシテカラニ、吟味ヲ致シマシタ所ガ、ドウモ是ハ如何ニモ政府原案ノ通ガ宜シイ、デ衆議院ノ削減ト云フモノハ甚ダ苛酷ナモノデアル、云フガ大體ノ趣意デゴザイマス、デ又衆議院ノ方針等ヲ速記デ見マシテ、意向ヲ窺ッテ見マスルト一理是モ無イデハナイ、ト云フモノハ政府ガ財政整理ヲシ、行政整理ヲスル、其行政整理等ノ結果ニ依テ必ず人モ或ハ減少スルヤウニモナラウ、種種變更ニナルラウカラ其結果ニ依テ殖スモノハ殖スヤウニシタラ宜カラウト云フヤウナコト、見エマス、是モ一理ナイデハナイ、然ルニデス、裁判官ノ人員等ノ事ニ至リマシテハ裁判所構成法ナド、云フモノガアリマシテ法律ト關係ヲシテ居ルモノデ法律ノ改正ガ出來ヌ以上ハ人ヲ減ストカ殖ストカ云フコトモ出來ナイ、又殊ニ此監獄等ノ事ニ至ツテハ此控訴事件ニ附イテ身元

保證金ト云フヤウナモノヲ之ヲ廢シテカラト云フモノハ非常ニ控訴ガ多クナツテ殆ド今日デハ如何トモナラヌヤウナ景況ニナツテ居ルト云フコトガ事實ト云フヤウナ薄給ノ者デハドウシテモ腕ノ立ツ者ヲ雇フコトハ出來ナイ、使フコトハ出來ナイ、ソレガタメニ遂ニ一日ニ出來上ルベキモノモ二日モ三日モ掛リ誠ニ人民ノ權利ニ非常ニ關係ヲスル、又罪人デ見マシテモ未ダ罪ト極ラヌヤウナ者デモ五日デ濟ムモノヲ十日二十日三十日四十日モ遂ニ留置カ子バナラヌ、ソレガタメニ次第ニ獄ハ積ンデ仕方ガナイ有様ニナツテ居ル、是ガナカヽ此暮マデ待テル勢デハナイト云フコトデアリマス、デサウ云フヤウナ大略主意ヲ以チマシテナカヽ行政整理ナドト云フコトヲ待ツ暇ガナイ、ヤルモノハヤルデ宜シ、若シ行政整理ノ出來タ曉ニ減スコトノ出來ルモノハ其時ニ減スガ宜イ、ドウシテモ此今日ノ政府ノ有様ト云フモノハ斯ウスル、サウスルト云フ約束ヲシタ所ガソレガ實行サレタト云フコトハ誠ニ稀ナコトテ、早ヤ政府ガクエテ仕舞ウカモ知レヌ有様デアリマスカラ、スペキ事ハシテ置カヌトナラヌト考ヘマスル、此文官少給者ノ増俸ノコトハ大體サウ云フ主意デ之ヲ政府案ノ通ニ復活致シマシタ、臨時部ノ甲號ノ陸軍第四款、此中ノ臺灣兵營費、是ハ段々承ッテ見マスルト御承知ノ通臺灣ハ非常ニ氣候ノ惡イ所、之ガタメニ向フヘ行ク所ノ兵營ニ集ツテ居ル兵隊ハ内地ニ居レバ長壽ヲ保ツコトガ出來ル者ガ彼ノ地ニ行タガタメニ忽チ生命ヲ失フト云フ非常ナ病人ノ數、死人ノ數ガ多イサウデゴザイマスル、本員モ臺灣ノ地ノ一部分ヲ踏ミマシタガ、實ニ其瘴癆毒ノヤウナモノガ今ニ殘ツテ居ルハアノ地方デアラウト思フ、是ハ政府ノ要求シテ居ル通速ニ兵營ハ完備シテ病人ノ數ヲ減ジ死人ノ數ヲ減ズルハ國家ガ兵隊ニ對シ國民ニ對スル義務ト認メマスル、ソレ故ニ是ハ政府案ノ通ニ復活ヲ致シマシタ譯デアリマス、ソレカラシテ同ジ臨時部ノ海軍、是ニ於キマシテハ誠ニ精密ニ瓦ツテ餘程綿密ノ調、綿密ナ議論ガゴザイマシタ、又此所ニ於キマシテハ當局者ノ海軍大臣、非常ニ勉強ヲサレ、殘ル所ノ通最初枝光ノ製鋼所ニ於テ軍器ヲ造ルト云フコトデ、即チ此枝光ノ入費ヲ支出スル初ニ於キマシテ軍器ニ重キヲ置イテ決定ニナツテ居リマスル、然ルニテハ農商務省ト云フモノ即チ枝光ノ製鋼所ト云フモノガアリマシテ、御承知マシタ、又此所ニ於キマシテハ當局者ノ海軍大臣、非常ニ勉強ヲサレ、殘ル所ノ通最初枝光ノ製鋼所ニ於テ軍器ヲ造ルト云フコトデ、即チ此枝光ノ入費ヲ

ナイト云フ有様ニナツテ居ルヤウテアリマスル、併シ之ヲヤレト云フヲ責任ヲ負ハスナラバ枝光ノ方デモ出來ルヤウデアリマスガ、如何セン此海軍ノ方ニハ大臣ハ固ヨリ其他委員ニモ誠ニ答辯其人ヲ得テ居リマスカラシテ餘程密ナ答辯モゴザイマシタケレドモ、農商務省ノ方ニ於キマシテハ最モ肝要ナル製鐵所長官、是ガ不在デアリマスル、此必要ナ人ガ不在デアルガタメニシテ衆議院デハ何デモ態々來テ辯ゼラレタヤウデアリマスガ、貴族院ニ於テハ和田長官ノ十分ノ説明ヲ聞クコトヲ得マセズシテ遂ニ御報告ヲ申スコトニナツタノハ甚ダ遺憾デゴザイマス、ソレデ今日ノ有様ハ片言ヲ聞イテ是非ヲ決スルト云フコトニナルヤウナ有様ニナツテ居ル、本員ナドハモウ一ツ農商務省ノ即チ製鐵所長官ノ明ナ説明ヲ承リタイト考ヘマスルケレドモ、今申ス通サウ云フ譯デカラニ、ソレヲ得ザツト云フ有様デアリマスガ、何シロ枝光ノ製鋼所ニ於キマシテモ非常ナ大金ヲ掛ケル、又吳ヘ今度造ラウト云フ海軍ノ設備ニ於キマシテモ非常ナ大金ニナリマスル、デ此後ドノ位先ニ金ガ掛ルヤラ大凡是デ行クト云フコトハ五百萬圓ソコヽヽデ行クト云フコトニナツテ居ルヤウデゴザイマスガ、是ハ所謂豫算デ今マテ政府ノ豫算ガ豫算通ニ行ツタコトハナイ、必ズ何時デモ次第ニ太ツテ行クコトハ諸君御承知デアリマスカラ、政府ノ仕事ハ元ト出ス時ニハ小口バカリヲ出シテ端ヲ見セカケテ置イテ已ムヲ得ヌヤウニナツテ擴ルヤウニナツテ來ル、是ハ今マデノ實驗ニ據ツテ諸君モ御承知ノコト、考ヘマスル、ソレ故ニ是ハドウシテモ製鐵所長官ノ意見ヲ聞キ十分調査モシ、又海軍ノ方モ十分モウ一ツ踏込ンデカラニ調ベテ、ソレカラ以上デ決スルガ宜カラウ、何ゾ必シモ今年ニ限ル譯デハナイ、動トモスルト此當局者或ハ賛成ノ方ハ東洋ノ形勢、東洋ノ形勢ト云フコトヲ言ハレマスルガ、東洋ノ形勢ハ誰モ御承知ノ通デ今日大キナ聲デ言ハイデモ分リ切ツテ居リマスガ、實ニ一年延シタ所ガ逆モ間ニ合ハナイコトハナイ、是ハ四年五年ノ先キマデ此有様デ繼續シテドンヽ金ガ要ルト云フコトニナツタラバ我シノ考ヘル所デハ遂ニ國家ノ財政ハドウナルカ分ラヌヤウニ手シテカラニ習練ヲスルノデアリマスカラ隨分年月ヲ經ルデアラウ、ソレデ考ヘル、スレバ直クニ間ニ合ハナイ、兎モ角モ間ニ合ハナイコトハ分リ切ツテ居ル、四年先キデナケレバ出來ヤシマセヌ、ソレカラ先キモ亦ソレカラ始テ著國家經濟ノ上カラ考ヘマスルト枝光ニモ一ツ出來掛けテ居ルニ又今度吳ニモ拘ヘヤウト云フノデアリマスルカラシテ、深ク慎重ニ吟味ヲセ子バナラヌ、サ

ウ云フ理由ヲ以テ大體ニ於テ海軍ノ第十二款ノ吳製鋼費ト云フモノハ委員會ニ於テハ否決ヲ致シマシテゴザイマスカラ、ソレデ之ニ附イテ時宜ニ依リマスレバ又私ハ一己ノ意見ヲ述ベル時機モアリマセウカナレドモ先ヅ大略是ダケ御報告ヲ致シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 豫算案ノ議事ノ進行ノ便宜ヲ圖リマシテ、豫算委員會ニ於テ修正ノアリマシタ分ヲ除クノ外皆御異議ハナイモノト認メルヤウニ致シタイト思ヒマスガ如何デゴザイマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 委員會ニ於キマシテ修正ノアリマシタ部分ノミニ附イテ是カラ會議ヲ開キマス、歲出經常部内務省所管

〔國務大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 私ハ聲ヲチット痛メテ居リマシテ御聽苦シイカ知レマセヌガ此際ニ於テ一言致シテ置キタイコトガアリマス、此豫算委員會ノ初ニ於テモ又終ニ於テモ政府ノ意思ヲ代表シテ申述べテ置イタコトデアリマスガ、是ハ此度本院ニ於テ修正復活ニナリマシタ俸給其他ノ事デアリマスガ、其復活セラレタ趣意ハ唯今委員長カラモ御述ニナリマシテ、即チ政府ノ提出シタル趣意ト同一ノコトデアリマスルガ、曩ニモ申シマシタ通ニ政府ハ此事ニ附イテハ大體ニ願ミテ豫算ノ成立ヲ望ムコトノ切ナルガタメニ、復活ハ望マズシテ衆議院ニ於テ修正サレマシタル所ヲ以テ通過セラレンコトヲ希望致スト云フコトニナツテ居リマスカラドウゾ、此段ヲ一言致シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 内務省所管、委員會ノ修正ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 過半數ト認メマス、次ハ大藏省所管……是ハ委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 司法省所管

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、農商務省所管……委員會ノ修正デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 其通決シマス、遞信省所管
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、歲出臨時部陸軍省所管

○議長(公爵近衛篤麿君) 委員會ノ修正ニ決シマス、海軍省所管
〔國務大臣山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本權兵衛君) 諸君、唯今議題ト相成テ居リマスル所ノ海軍省所管吳造兵廠擴張費追加支出問題ニ附キマシテ一應意見ヲ申述べタイト考ヘテ居リマス、既ニ此問題ハ當議院ニ於キマシテハ誠ニ不人望ノ問題デゴザイマシテ、第一回ニ分科會ニ於テハ七ニ對スル五ノ少數デ敗レ、豫算委員總會ニ於キマシテハ記憶スル所ニ依ルト總數四十二名中二十七ニ對スル十五名ノ少數デ是レ亦敗レタリ、然レドモ本官ハ此賢明ナル貴族院全體ノ意嚮ハ必ズ本官ノ喋々俟タズシテ國家ノタメ御贊成ニナルデアラウト云フコトヲ深ク思ヒ且ツ又復活ヲ望ムノデアルノデアリマス、就キマシテハ此問題ヲ解決致シマスルニハ誠ニ口不調法ナルタメニ諸君ヲシテ満足セシムルコトモ如何デアラウカト考ヘマス、且ツ又分科、委員總會等ニ於テ屢々辯明シマシタルコト、重複スルコトガアルデアラウト思フノデアル、然レドモ暫時御忍ビ下サイマシテ御聽ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、先ヅ此造船造兵ト云フ造船ヨリ始メマス、造船事業ナルモノハ如何ナル時ヨリ始ツテ今日ハ如何ナル範圍程度ニ及シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ諸君ニ御吹聴致サ子バナリマス、諸君御承知ノ如ク造船事業ハ舊幕ノ末世ニ於キマシテ佛蘭西人ノ教師ヲ傭ウテ其基礎ヲ横須賀ニ固メタノデアリマス、明治ノ初年政府ガ之ヲ受取ッテ而シテ後海軍省所管ト爲ツテ既ニ三十年ノ歲月ヲ經タノデアリマス、其ハ一番舊イノデアリマスカラ三十年ノ今日マデニ至ツテ如何ナル軍艦ヲ製造シテ帝國、即チ國防ノタメニ本邦ニ游弋シテ居ル所ノ艦船ハ如何ナルモノデアルカト云フコトハ、實ニ事茲ニ至ツテハ已ムヲ得ズ諸君ニ訴ヘナケレバナルコトニ立至ツタノデゴザイマス、是ハ單リ本官ガ直接ニ此責任ヲ有シテ居

リマスケレドモ國家國民ノ上ニ私ハ均シク諸君ト其責任ヲ同ジクスルト云フコトハ申シ難イガ、憂ハ必ズ共ニサル、コト、考ヘルノデアル、明治八九年頃、工ヲ始メマシテ横須賀軍港ニ於キマシテ清輝ト天城ト云フ船ヲ始メテ造リマシタ、此軍艦ハ如何ナル軍艦デアル即チ一千噸ニ上ボラヌ小サナ「ガンポート」デアル、尙ホ三十四年ノ今日マデニ至ッテ如何ナル勵ヲ爲シテ居ルカ申セバ四千噸前後ノ艦船ヲ製造シタニ過ギナイ、今日ノ艦船上ヨリ之ヲ委シク御話致セバ中艦ニ過ギナイノデアル、此材料ハ如何ナル物ヲ用ヒテヤツタカト云ヘバ前ニ申シタ通清輝艦、天城ノ如キハ先づ大部分ハ日本ニ在ル所ノ材木ヲ以テ造ツタ所ノ船デアル、終ノモノハ是ハドウ云フモノデアルカト云フト是ハ即チ鐵ヲ以テ造ツテ居ル、此艦船ヲ製造スル所ノ材料ハ如何ナルモノデアルカ、何レノ國ヨリ輸入シテ居ルモノデアルカト云フト、悉ク此材料ハ外國ニ仰イダニ過ギナイ、殘ル所ノ三分ノ一、工費ノ如キ其他僅ニ製作ニ要スル所ノ材料ハ皆本邦産ニ依ツテ製作シマシタガ、其大部分ハ舉ダテ海外ニ仰ガザルヲ得ナカッタノデアル、而シテ技術ノ進歩ハ駿々トシテ非常ナル勢ヲ以テ進ミ來ツタノデアリマス、扱此間ニ又御話ヲ申サ子バナラヌト云フコトハ日清事件ノコトデアリマス、其當時ハ如何ナル艦隻ガアツタカト云フコトハ諸君モ御承知デアルデアラウト思ヒマス、其一二年前ニ於キマシテ明治二十五年ニハ大詔煥發ノ結果トシテ遂ニ富士、八島ト云フ軍艦ヲ始メ其他二三隻ノ軍艦ヲ製造スルニ立至ツタノデゴザイマス、扱諸君如何、デゴザイマシタカト云フコトハ日清事件——明治二十七年五月——ノ前後ノ事柄ノ既ニ危險ニ陥ラントスルノ時ニ於キマシテ當局者ハ固ヨリ國民ハ如何ナル考ヲ持ツタデアルカ、定メシ此貴族院議員諸君ハ國家ニ功勞アル才識經驗ニ富マレタル所ノ諸君ハ種々ナコトヲ想像サレタデアルデアラウ、當時ノ海軍ナルモノハ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ其際ニ於テ國民ガ餘程感ジタデアラウト思フ、誠ニ不幸ニシテ海軍ハ二十五年前後ニ於キマシテハ非常ナル攻撃ヲ受ケマシタダメアルカト云フモノハ、ソレガタメニ餘程防遏サレタノデアル、當局ニ於テハ斯ノ如ク攻撃ヲ受ケル筈ハナイト信シテ居リマシタガ、如何セン即チ不徳ノ致ス所、其職ニ在ツテ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマシタ、然ルニ幸ニ二十五年ノ經綸ニ於テハ幾ラカノ船ガ出來ルコトニナリマシタガ、如何セン是ハ二十七八年ノ戰役ニ參與スルコトガ出來ナカッタ、其時ニ於テ當局者ヲ始メ國

民ハ若シモ此問題ヲシテ一日モ早ク決シタナラバ又心配ト云フコトモ幾ラカ薄ライダデアラウト云フコトハ定メシ考ヘラレタデアラウ、又當局者ハ左様考ヘタ、ソレニモ拘ラズ彼我ノ船ノ體形及戰鬪力ノ如何ヲ軍事上カラ考ヘテ申セバ四千噸前後ノ艦船ヲ製造シタニ過ギナイ、我帝國ノ艦數ニ倍シ船ノ體形ト云フコトヲ申サナケレバナリマセヌ、今日マデニ製造仕上グタ大キナ船ハ橋立ト云フモノデアル、是ハ四千噸ニ少シ上ノ船デアリマス、扱船ニ就イテ申セバ四千噸前後ノ艦船ヲ製造シタニ過ギナイ、今日ノ艦船上ヨリ之ヲ委シク御話致セバ中艦ニ過ギナイノデアル、此材料ハ如何ナル物ヲ用ヒテヤツタカト云ヘバ前ニ申シタ通清輝艦、天城ノ如キハ先づ大部分ハ日本ニ在ル所ノ材木ヲ以テ造ツタ所ノ船デアル、終ノモノハ是ハドウ云フモノデアルカト云フト是ハ即チ鐵ヲ以テ造ツテ居ル、此艦船ヲ製造スル所ノ材料ハ如何ナルモノデアルカ、何レノ國ヨリ輸入シテ居ルモノデアルカト云フト、悉ク此材料ハ外國ニ仰イダニ過ギナイ、殘ル所ノ三分ノ一、工費ノ如キ其他僅ニ製作ニ要スル所ノ材料ハ皆本邦産ニ依ツテ製作シマシタガ、其大部分ハ舉ダテ海外ニ仰ガザルヲ得ナカッタノデアル、而シテ技術ノ進歩ハ駿々トシテ非常ナル勢ヲ以テ進ミ來ツタノデアリマス、扱此間ニ又御話ヲ申サ子バナラヌト云フコトハ日清事件ノコトデアリマス、其當時ハ如何ナル艦隻ガアツタカト云フコトハ諸君モ御承知デアルデアラウト思ヒマス、諸君此際ニ於キマシテ大部ノ勢力ヲ集中スルコトニ立至ツタノデゴザイマス、諸君此際ニ於キマシテケレドモ何分此問題ノ解決ヲ致シマスルニハソレ程マデ申サナケレバ諸君ヲシテ大ニ此目的ノ贊助ヲ願フト云フコトハ容易ノコトデナイト信ズルノデゴザイマス、扱戦終ツタ後當局者ハ國防ノ大計ニ依リマシテ海陸軍ノ擴張ヲ圖リ、サウシテ貴衆兩院ガ均シク此問題ニ翼賛ヲ與ヘラレマシテ今ヤ其目的ノ大部分ノ勢力ヲ集中スルコトニ立至ツタノデゴザイマス、諸君此際ニ於キマシテ非常ナル大金ヲ擲チ非常ナル艦種ノ區別ヲ革メ之ヲ造ラントスルニ當ツテ、未ダ一言ノ諸君ヨリ軍艦其物ノ「タイプ」ハドウデアル、大砲其物ガドウデアルト云フコトノ御意見ハ承ラナカッタ、扱是ハ誠ニ前任者其當ヲ得マシテ諸君ガ御信任アツタ結果ト致シマシテ、偏ニ當局者ニ御信任ノ厚キモノト考ヘナケレバナラヌ、此船ノ如キハ結果如何デアルカト云フコトヲ又一言御吹き大艦ヲ如何ニ操縦シ得ルヤ、又何ノタメニアンナ船ヲ造ルカト云フ批評モ聽ヲ致サ子バナリマセヌ、成ル程富士、八島ヲ造リマシタトキニハ一萬二千三百噸前後ノ船デゴザイマシタケレドモ、隨分内外ヨリノ批評モアツテ斯ノ如キ大艦ヲ如何ニ操縦シ得ルヤ、又何ノタメニアンナ船ヲ造ルカト云フ批評モゴザイマシタガ、前任者ハ大ニ茲ニ見ラル、所アツテ遂ニ今日ニ至リ、我ヨ海軍ヲ満足セシムルノミナラズ、國家ノ上ニ十分ナル勢力アル軍艦ナリト云フコトヲ最早今日ハ認メラレタノデアリマス、認メラレルト同時ニ此船ナルモノハ、最早時日ヲ經過シテ居ツテ多少遺憾ノ所ガアルノデアリマス、故ニ軍備擴張ノ時ニ於キマシテハ是ニ最大ノ技術ノ進歩、其他日清戰役ニ於キマシテ得タル所ノ事柄ニ附イテ多少ノ修正ヲ加ヘマシテ、今世界ニ在ル所ノ有數ナ船ニ一步進ンデ新式ナル裝置ヲ致シタノデゴザイマス、扱此結果ハ遂ニ世界中大強國トモ海王國トモ言ハレル所ノ海國ノ將士ハ如何ニ之ヲ評シタデアルヤ、英國ノ議院ニ於テハ是ニ如何ナル問題ヲ以テ海軍大臣ニ問ウタデアルカ、諸君定メシ御承知デアラウト思フノデアリマス、何レノ點カラ見テモ日

本國ノ英國其他ニ於テ製造シタル所ノ戰鬪艦及一等巡洋艦ノ如キハ、大砲ト云ヒ勢力ト云ヒ、其他操縱上ニ於テ、諸般ノ點ニ於テ遺ス所ナク誠ニ完全無缺ノ艦船ヲ造ッタト云フコトノ稱讚ヲシタ、其稱讚ハ變ジテ我ム當局者ヲシテ又一層種々ナル心配ヲ爲サシメタ、如何トナレバ我ムガ之ニ甘ンジテ諸君ノ前ニ人ガ褒メルカラ我ムモ足リルト云フコトデアリマシタナラバ、國家ノ前途ハ甚ダ憂慮ニ堪ヘスト信ズルノデアル、扱其當時ニ於キマシテ屢明言致シマシタ通、本邦ニ於テ製造シ得ルモノデアリ、且ツ形勢ガ許スナラバ、或ル數ハ成ルベク本邦デ作リタイト云フコトハ當事者ノ切ニ希望スル所ナルノミナラズ本官等ニ於テモ最モ必要ナリト認メタノデアリマス、故ニ最初ハ一等戰艦一隻、一等巡洋艦一隻ハ成ルベク日本デ造リタイト云フ考ヲ以テ一兩年引摺ッタモノガ、今最後ニ英國ニ於テ製造シツ、アルノデアリマス、熟造船官、竝ニ機關官ノ今日マデ得タ所ノ經驗其他我ガ工場ノ程度如何ヲ攻究致シマスルト云フト到底本邦ニ於テ裝甲艦以上ノ艦船ヲ造ルト云フコトハ遺憾ナガラ當時ノ場合デハ爲シ得ナイノミナラズ、薄イ鐵板ヲ張ル小サイ船デスラモ満足ニ我ガ内國產ノ物ヲ以テ製造スルコトハ、遺憾ナガラ出來ヌノデアル、授前ニ申シタ所ノ造船機關官ハ如何ナル力ノモノデアルカト申セハ、即チ今造船ノ當局ニ在ル所ノ佐雙總監ノ如キハ明治四年ヨリ海外ニ出デ殆ド十年以上ノ星霜ヲ經テ造船技術上ニ於テハ最モ有數ノ人タルト云フコトハ御承知モアルデゴザイマセウ、機關ノ總監タル所ノ宮原氏ニ於キマシテハ殆ド年齢ノ半即チ十九年位ノ年月ヲ、前後數回海外ニ從事シ、進ンデ海外ニ出デ研究致シタ人デアル、其他如何ナル人ガ隨從シテ居ルカト云ヘバ海軍ノ諸學校ヲ終リ或ハ帝國大學ヲ卒業致シ數年ノ後海軍ニ實地ニシテ此技術ノ方ニ經驗致シタ人デアル、其他如何ナル人ガ實ニ數多アルノデアル、加フルニ職工其者モ、此擴張ノ結果トシテ海外ニ於テハ助手ト爲リ、或ハ職工ト爲テ傳習サセタ者ガ數多アルノデアリマス、然ルニ國家ハ之ニ向ウテ十分戰鬪艦ヲ造リ得ルダケノ材料ヲ與ヘタナラバ何ゾ今日ニ於テ本大臣ハ斯ノ如キ困難ナ事情ヲ諸君ニ訴ヘル必要ハ實ハナイノデアリマスガ、實ハ是マデノ經歷ハ今申シタ通ノ話デアル、是ヨリ議論ヲ轉ジテ造兵事業ノ範圍ニ説及サンニ、我ムノ前任者ニ於キマシテ明治十年前後ヨリ此製鋼ト云フコトニ於テハシテ今日ハ此問題ヲ提出スル時機ニナッタノデアリマスガ、實ハ是マデノ經歷ハ今申シタ通ノ話デアル、彼進ンデ出テ遂ニ一年以内ニ於テ工場ノ一部ノ設備ヲ擔ハサレタノデアル、彼進ンデ出テ遂ニ一年以内ニ於テ工場ノ一部ノ設備ヲ爲シ從ツテ最初ノ目的ノ通彈丸其他ノ兵器ヲ製造スルコトノ運ビニ至ツタト云フコトハ我ム當局者ト雖モ實ニ驚クノ外ハナカッタノデアル、諸君申ス

廠ノ一工場トシテ築地ニ製鋼場ノ一部分ヲ擁ヘタノデアル、即チ小サナ野砲ノ如キ或ハ彈丸其他軍器ノ大部分ハ之ヲ以テ創始ト致シタノデアリマス、又各造船廠ニ於キマシテハ造船ニ使用スル所ノ「カストスチール」ノ如キ多少此鋼ニ關係ノアルモノハ工場ノ必要ニ應ジテ小サナル型ヲ設ケタノデアル、叔此造兵事業ト云フモノハ如何ニ進デ居ルカト申セバ、造船ノ方ヨリハ今ヲ過ぐ七八年以前ハ遙ニ下ツタモノデアル、其學問事業ノ程度ハ我ムカラ申スト殆ド造船事業ノ半ニモ達セナカッタ、如何トナレバ造船ハ明治ニナル五六年前ヨリ段々歩ヲ進メテ來テ、四十年ニ垂トスルノ日月ヲ經タノデアリマス、併シ此日月ナルモノハ今申上げタ通甚ダ遺憾ナル間ニ經過致シテ居ツタノデアリマス、然ルニ造兵事業ト云フモノハドウデアルカ、明治二十四年ヨリドウシテモ此事業ヲ擴張セ子バナラスト云フガ故ニ吳ニ兵器製造所ト云フモノヲ設立スルト云フコトノ經畫ヲ海軍省ハ立テタノデアリマス、然レドモソレハ未ダ土地ヲ選定シ、土地ヲ開鑿スルト云フコトニ過ギナカッタ、明治二十七八年ノ時分マデハ……然ルニ日清戰爭ガ始リマスルト其最初ニ於キマシテハ此戰ナルモノハ幾歲月ヲ費セバ果シテ此目的ヲ達シ得ルヤト云フコトハ餘程ムヅカシイ問題デアッタ、其當時我艦隊ノ編制ハドウデアルカト申セバ、大人モ居リ子供モ居リ種々ナ者ガアツタ、人間ニ例ヘテ見マスルスト云フノモアツタ、彈丸大砲ノ有様ハドウデアツタカト云ヘバ種々舊式ノ大砲モアリ、又ハ新式ノ速射砲モアルト云フコトデ、然ルニ新式ノ連射砲ヲ備ヘタル二三艦ガ敵ニ向ツテ發射シタル彈丸ハ夥シイ數デアル、其戰ヲ宣セラレタ結果、之ヲ海外ニ仰グト云フコトハドウシテモ出來ナイデアル、故ニ此時ニ於テ山内大佐ガ、當時大尉カ少佐デアツタ記憶シテ居ル、奮然トシテ此問題ヲ受ケテドウ致シテモ速射砲ノ彈丸ト云フモノハ、諸君ガ御承知モアリマセウト思ヒマスルガ、丁度短銃ノ彈ノ如キモノデアル、アノ彈ト「ケース」ガ一緒ニ喰附イテ大約三尺位ノ長イモノデ此藥莢ヲ作リマスニハ一種特別ナモノデアツテ、決シテ尋常ノ仕事デ出來得ベキモノデナイノデメラレテ政府ハ一時非常ナル金ノ支出ヲ致シマシテ託スルニ山内氏ニ此問題ヲ擔ハサレタノデアル、彼進ンデ出テ遂ニ一年以内ニ於テ工場ノ一部ノ設備ヲ爲シ從ツテ最初ノ目的ノ通彈丸其他ノ兵器ヲ製造スルコトノ運ビニ至ツタト云フコトハ我ム當局者ト雖モ實ニ驚クノ外ハナカッタノデアル、諸君申ス

マデモナイコトデアリマスル、成ル程我ミガ先輩者ト申スハ歐米各國ノ人ヨリカナイ、必ズ之ニ依リ道ヲ學ブノガ始デアッタ、然レドモ國家非常ノ際ニ於テハ今申ス通何レノ國、一ツデモ嚴正中立ヲ守ルカ、又ハ彼我對戰ノ國ナラバ其人ヲ工場ニ使フコトハ出來ヌノデアル、故ニ本邦人ノ中ニ知識アルシテ吳兵器製造所ナルモノ、設備ヲ致シタノガ始リデアリマス、二十九年ノ擴張ノ際ニ於キマシテハ僅ニ六十萬ト云フモノヲ新計畫ニ致シタニ過ギナシタ、其當時ハ即チ西郷侯ガ海軍大臣デアッテ拙者ハ軍務局長ヲ奉ジテ居リマシタ、其當時山本ナル者ハ甚ダ不明ニ過ギナカッタト云フコトヲ又此議場ニ訴ヘナケレバナラヌ、即チ大砲ヲ二十九年カラ造ルト云フコトニ至ッテハ老婆心ヲ以テ此問題ヲ第一回ニ看破スルコトガ出來ナカッタ、ト云フモノハ西郷侯ノ面前ニ於テ山内氏ノ經畫ニ對シテ當時軍務局長ナル拙者ガ何ト申シタカト申セバ、此鋼ノ大砲ヲ造ルニハ餘程數月ノ經驗モイルノミナラズ重大ナル責任ヲ持チ若シ一步ヲ誤レバ軍隊ヲ沮喪セシメ又敵ヲシテ我隙ニ乗セシムルト云フコトハ甚ダ容易ナラヌコトデアッテ先づ度量ヲ披イテ、得ラレルナラバ、外國ノ教師一二名ヲ呼ブカ、ソレヲ山内氏ノ監督ノ下ニ在ラシメテ職工數名ヲ雇ウテヤッタナラバ我國ノ職工モ同時ニ訓練スルコトガ出來テ宜シウハナイカト云フタトキニ、西郷海軍大臣ノ前ニ於テ山内氏ガ此拙者ニ申シタ、此當時山内大佐ハ官職カラ申スト遙ニ我輩ヨリ下級ノ將校デアリマシタガ、實ニ簡單ナ語ヲ以テ答ヘタ、私ニ御信任アッテ此問題ヲバドウシヲモ擔ウテセイト云フコトデアリマスナラバ何ヲカ厭ハン、私ハ辭ヲ口ノ上デ言フコトハ甚ダ嫌フノデアッテ、何事モ言行一致シナケレバナラヌ、故ニ支那事件ノ問題ノ起ルト此大責任ヲ擔ウテヤリマシタ結果ハ品物ヲ御覽下サレバ分ルデアラウ、是ヨリ進デ大砲ヲ製造スルコトニ於テ何ヲ躊躇スル暇ハナイノデアル、果シテ若シ之ヲ御信任ガナイト云フナラバ兜ヲ脱イデ御免ヲ蒙ルノデアル、是ハ軍人トシテハ出來ヌケレドモ實ニ簡單ナ語ヲ以テ其時ニ海軍務局長ノ職責ニ在ル軍事上ノ議論ヲ捨テ、仕舞フテ宜イ、ソレナラバ斷ジテ自分ノ議論ヲ引キ進デ此人ニ託スレバ必ズ満足スルト云フタメ遂ニ二十九年來事業ヲ繼續シタノデアル、然ルニ五年ノ此間ノ結果ハドウデアル

カ、海軍へ明治ノ初年ヨリ從事シタ所ノ私ガ斯ノ如キ因循ナル議論ヲ其當時立テタコトモアリマシタ、貴下方ニ於テモ海軍ノ造兵廠ハドウ云フ範圍マデ進ンデ如何ナル事業ヲシテ居ルカ、明治ノ初年ヨリ歴史ガアツテ日清戰役ノ際ニ從事シタ所ノ艦船ハ如何ナル種類ノモノデアツタカ、今日帝國ノ海軍トシテ即チ本邦ニ在ル所ノ艦船ハ如何ナルモノデアツタカト云フコトニ附イテハ、御多忙ノ際或ハ御覽下サルコトガ出來ナカッタカモ知レヌ、然レドモ屢々、之ニ向ツテ便利ヲ與ヘルコトヲ私ハ力メテ居ルノデ、尙ホ又將來力メント欲スルモノデアル、十分ニ御調査下サレテアツタナラバ、今日ノ問題ニ於テ諸君ガ解決シテ下サルコトハ、イト易イコトデアラウト信ジテ居ルノデアリマス、ソコデ造兵ノ事業ノ如キハ僅ニ五年ヲ出デナイ内ニ如何ナルコトヲシテ居ルカ、此大砲ヲ造ルト云フコトハ實ニ工業界ノ最モ苦難スル所デアルト信ジテ居ルノデアル、ソレアルニモ拘ラズ目下製造シ上ゲテ造兵廠内ニ安置シテアル所ノモノハ大口徑ハ二十一珊以下小口徑ニ至ル數多ノ大砲デアリマス、既ニ諸君ガ一昨年協賛ヲ與ヘラレタ所ノ造兵工場ノ設備ト云フハ如何ナルコトヲスルカト申セバ即チ二十四珊マデ作ルコトノ從來ノ經畫デアリマシタガ、之ヲ進メテ大口徑ノ十二吋即チ三十珊半ノ大口徑ノ製作ヲスルコトハ諸君ガ滿場一致デ翼賛下サレタ結果トシテ今ヤ造砲工場ハ著々歩ヲ進メテ以テ三十六年度ニ至ツテ三十珊半ノ大口徑ヲ製作スルコトガ出來ル程度ニ立至ツタノデアル、立至リハ致シマシタガ、又大砲ナルモノハ平戦兩時ヲ問ハズ軍艦ニ搭載シテアル所ノ大砲ハ年々發數ガ限ツタル、何發以内ノ發數ハ有時ノ際有效ナラシメンガタメニ之ニ向ツテ射擊ノ法ガ拵ヘテアル、故ニ大砲ハ何十發發射ノ後ニ至ツテハ命數ガ盡キテ廢砲ト爲ラチバナラナイ、丁度人間ガ老朽スルト同ジコトデアル、此老朽シタ大砲ハ如何ナル修理ヲ加ヘテモイケナイ、故ニ今拵ヘテアルモノハソレハ豫備砲ト云フ如キモノニ向ツテヤツテアル、叔是ヨリ出シマシタ所ノ問題ニ附イテ御話致サンニ、軍艦ノ艦上ニ搭載シテアルカト云フコトハ諸君ガ御承知ニチラナケレバナラヌ、是ハ恰モ圓筒形ノ物ノ中へ大砲ガ這入ツテ居ルノデアル、ソレハ餘程厚ミハ非常ニ厚イモノデアリマス、其他小口徑ノ大砲ト雖モ砲隙ガアツテ初テ戰時ニナツテ砲員ヲ其間ニ隱蔽セシメテ、以テ有效ナル射擊ヲ爲シテ其目的ヲ達セントスルノ手段ヲ平常カラ講ジテ十分ナ豫防法ヲ爲シテアリマス、大

砲ハスクマデ完全ニ出來得ルニ拘ラズ其大砲ヲ安座スル所ノ砲塔砲橋ト云フモノハ委員總會ニ於ケルヤデ一回ノ敗軍ニ會ツタノデアリマス、諸君、如何デゴザイマセウ、實ニ遺憾ナコトハ當局者ハ申スマデモナク諸君モ斯マデ御話ヲ致シタナラバ十分御分リニナル御方ヨデアルト深ク信ズルノデアル、拵其大砲ハ出來ル、其大砲ヲ安座スル所ノ砲橋ノ如キ種々ナモノヲ海外ニ注文セントスルカ、是ハ實ニ容易ナコトデゴザイマセヌ、恐ラク「トランスポーテ」ノ如キ船ニテ運搬致シマスニ上甲板カラ下ニ這入ル穴ノ大キサニハ限ガアルノデアル、其限ガアルモノニ若シ大キナモノヲ入レルト、ソレガタメニ船ノ穴ヲ開クト云フコトモ出來ベカラザルコトデアル、又此重量ナルモノヲ海外ニ注文シテ運搬スルト今ノヤウナ困難ガアルノミナラズ積ムベカラザル所ニ積メバ船ノ「スタビリチー」ニ於テ非常ニ關係ヲスルト云フコトハ是ハ造船技術者ノ普ク御承知ノコトデアル、斯クマデニ困難ナモノデ一方ニ兵器ノ獨立ヲ致スニ拘ラズスウ云フモノガ出來ル、最早技倆モ十分ニ達シテ居ルコトデ、如何ニ申上ゲテモソレハ先ツ一年延スト云フコトニナリマシテハ實ニ國家ノ上ニ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、又之ヲ造船ノ方ヨリ論究致シマスレバ軍艦水雷艇補充基金法ノ制定ニ依リマシテ三十七年頃ヨリ軍艦ノ起業ニ掛ラチバナラヌ、是等ノ軍艦ナルモノハ當局者ハ無論貴衆兩院ノ諸君ニ於カセラレマシテモ必ズ形勢ガ許スナラバ本邦内ニ於テ製作スルコトハ所望サレルデアラウト思フ、是ハ無論デアル、拵所望サレルト同時ニ當局者ガ既ニ經驗シタ所ヲ以テ起サントスル事業ノ方案ハ是マデニ至ル間ニ敗ラレテアル、然ラバドウデアルカ、國家ハ軍事上必要ナ問題ニ向テハドウシテ見テモ其モノニ十分ナル所ノ器具機械ヲ與ヘテセナケレバ國家ノ發達ト云フコトハ到底出來ナイノデアル、諸君、申スマデモナク此日本國ナルモノハ如何ナル地形デアルカト云フコトハ實ニ三尺ノ童子ヲ待タズシテ明ナルコトデアル、加フルニ明治二十八年ノ五月、馬關條約ノ結果トシテ臺灣、澎湖島ガ我有ニ歸シタ以來、本邦ノ海岸線ノ延長シタコトハ是レズシテ明ナルコトデアル、此軍艦ノ配備上、平常ノ任務トシマシテモ、ナカナカ非常ナ困難ヲ感ジテ居ル、故ニ如何ニ殖產興業ヲ盛ナラシメントスルデモ國ニ必要ナ機關ガナクシテハ之ヲ保護スルコトハ出來ヌノデアル、是ハ申スマデモナク諸君ハ定メシ御同感デアラウト思フ、若シ國民ガ帝國ノ海軍ヲシテスノ如クアラシムルヲ望ムナラバ今申ス如キ目的ヲ十分ニ翼賛ヲ願ヒタインデアル、我已ノ力ヲ測ラズシテ大言壯語ヲ吐イテ國家政府ニ希望スルナ

ラバ是ハ無稽ナ空言ニ過ぎナイト考ヘル、併ナガラスノ如キコトハ此議場ニ於テハ無論ナイコトデアリマス、是ハ國民全般ニ向テ言フノデアル、未ダ國民ハ幼稚デアル、我海軍ニ對スル所ノ眼識モ幼稚デアルト思フノデアル、故ニ造船ノ事業ヨリ先カラ論究シマシタ通本邦ニ於テ一等戰艦以上ノ裝甲巡洋艦ノ如キ戰鬪艦ノ如キモノヲ造ルト致セバ皆悉ク海外ニ是等ノ材料ヲ注文セ子バナラヌノデアツテ、五年ノモノハ十年、否、モウ少シ時日ヲ要スルカモ知レヌ、ナカニ容易ナコトデナイ、其上ニ先日來申上ゲマス通是ニハ雛形及圖面ヲ造ラナケレバナラヌ、雛形ナルモノニ二種アリ、即チ一ハ木製、一ハ鐵製デアル、木製ハ氣候ノ變遷ニ依テ伸縮ヲ爲ス、從ツテ希望ヲ達セヌ、鐵ヲ以テ之ヲ製セント欲セバ之ヲ取外シ、又之ヲ附著スルニ「ナット、スクリュー」ヲ以テセナケレバナラズ、然ラバ締メ工合デ多少ノ凹凸ヲ爲ス、假令圖面ニ於テ一分一厘ノ「ガーブ」ヲ示シテヤルト雖モ是ハ實際「モデル」ニ依テナケレバ何レノ國ニ於テモ出來ベカラザルコトデアルト云フコトハ、私ノ言ヲ俟タズシテ此中ニ御經驗ノアル諸君ハ必ズ御承知ノコトト思フ、又小サナ船ニ於テモ一時以内ノ外板ニ張ル所ノ板ト云ツテモ是ハ日本デ造ルコトハ出來ナイ、故ニ是ヨリ枝光製鐵所ニ向テ來歷ヲ説カチバナラヌ、成ル程過ル明治二十四年ノ頃ニ於キマシテハ將來ニ起ル所ノ問題ニ對シテ海軍ニ於テ製鐵所ヲドウシテモ起サンナラヌ軍事上ノ必要ヲ感ジタノデアリマス、所ガ其際ハ自白致シマスレバ、マダ海軍ハ幼稚ナモノデ、此技術ニ於テ十分經驗ヲ得テ居ナカッタ、又需要ガ五六千噸ニ上ラナカッタ、數量ト云フモノハ……、授其問題ガ段々ト變化致シテ製鐵所ハ農商務省ノ所管ニ屬スルコトニナッタ、是ハ無論至當ノコトデアル、如何トナレバ一般ノ需要ニ供スベキモノヲ擧ゲテ必ズ、陸海軍ノ工場ノ範圍内ニ屬スベキモノデナイト斷言シテ憚ラナイ、ソレデ作業ニ掛ツテ今日收利的即チ計算的ニ收支償ハナケレバナラヌ事業ハ是ハ致シ方ナクシテ人民ノ程度ガ其度合ニ進ムマデ政府デ處理シテ臺灣、澎湖島ガ我有ニ歸シタ以來、本邦ノ海岸線ノ延長シタコトハ是レズシテ明ナルコトノ二途ニ外ナラナイト云フ其當時ノ當事者ノ説明ガ無用ニナッタト云フコトデアリマス、若シ其レアリトシタナラバ其言葉ガ甚ダ此議場ニモアリマシタガ、軍器ノ獨立ヲ爲スタメニソレニ要スル材料ト工業用ノ鋼材ヲ製スルコトノ二途ニ外ナラナイト云フ其當時ノ當事者ノ説明ガ無用ニナッタト云フコトデアリマス、若シ其レアリトシタナラバ其言葉ガ甚ダ此議場ニモアリマシタガ、軍器ノ獨立ヲ爲スタメニソレニ要スル材料ト工業用ノ鋼材ヲ製スルコトノ二途ニ外ナラナイト云フ其當時ノ當事者ノ説明ガ無用ニナッタト云フコトハ決シテ否マヌノデアル、是ハ事實ノ問題デアル、枝光製鐵所ノ殘テ不都合ト云フナラバ我ニハ政府ノ大臣トシテ誠ニ惡ルイコトデアツタト云フコトハ決シテ否マヌノデアル、是ハ事實ノ問題デアル、枝光製鐵所ノ

コトハサウ云フ言葉、デアッタガ、如何ナルコトヲ致シテ居ルカ、政府ノ方カラ諸君ニ申シマスレバ難キヲ後ニシテ易キヲ先ニスル、故ニ普通ノ鋼材即チ「レール」ノ如キ或ハ「シップスブレート」トカ「ビーム」トカ「アングルアイヨン」トカ柱トカ鐵道ノ材料ニスルモノトカ即チ營利的ノ重モナルモノデアリマス、其他軍事上ニハ間接ニ如何ナルモノヲ供給シテ吳レルカト申セバ前途ニ於テ愈、完全ナルモノデアレバ重モナル材料ハ「ピグアイヨン」即チ銑鐵デアリマス、其他艦材ニ用キル薄イ板、此板類ヲ變ジテ大砲ノ車臺ニモナルノデアリマス、其他小サナ速射砲弾丸用ノ圓棒ノ如キ亦以テ陸海軍ノ用途ニ供スルコトガ出來ルノデアル、拵此枝光製鐵所ト云フモノハ成ル程軍器ノ獨立ト云フコトヲ笠ニ冠ツタカハ知ラヌガ其實ハ今言フガ如キ有様デアリマシテ、政府ハ一日モ此枝光製鐵所ヲシテ有效ニ收支相償フコトヲ希望シテ已マザル譯デアリマス、然ルニ枝光製鐵所ハ直接ニ陸海軍ノ軍器ニ對スル所ノモノハ今何モ無イノデアル、成ル程大砲ノ材料ト云フモノハ初メ軍器獨立ノ重モナモノヲヤル積デアッタノガ、是ハ難キヲ後ニスルト云フ側カラ目下事業ノ進行中ニ在ルモノニハ何モ残レ居ラヌノデアル、海軍ハ既ニ一昨年諸君ノ協贊ヲ經マシテ最早三十珊瑚半ノ大砲ガ出來得ルノデアリマス、今ヤ既ニ八時マデ出來ルコトヲ試験致シテ居リマス、然ラバ殘ル所ハ軍器ニ付テ今申シタ通如何ニ之ヲ責メテモ詮ナキコトデアル、故ニ陸軍ノ大砲ニ使フ所ノ數量、大凡二千噸ト云フモノハ此問題ガ成立チマスレバ陸軍ノ方ニモ供給シ得ルト云フ決心デ居ルノデアリマス、サウスレバ枝光製鐵所ハ軍器ト云フモノニ向ツテハ軍器獨立ノ一部ヲ幫助スルニ過ギナイ、此一部ヲ幫助スル所ノ品物ハ即チ前ニ申述ベタ通ノ品物デアリマス、最初ヨリ枝光製鐵所ニ於キマシテ、殊ニ政府ニ於キマシテハ此新式ノ「クロームスチール」ノ鐵板ノ如キハ無論ノコト、其他一般ノ鋼板ノコトニ附イテモ最初ヨリ造ラヌノデアル、諸君ガ如何ニ望マル、ト雖モ最初カラ政府ノ希望ガ其所ニ無イノデアル、唯殘ツテ居ルノハ陸軍ノ砲身ノ材料ノミガ残ツテ居ル、殘ツタモノヲモ今回海軍デ造ルガ宜シイト云フコトニ政府ハ即チ前内閣ニ於テ此問題ヲ決シタ、此内閣ニ於テモ無論當否ヲ論ジテ終ニ議場ニ出シテ衆議院ヲ通過シテ本議場ニマデモ上ツタノデアリマス、ソコデ枝光製鐵所ハ如何ナルコトヲスルカト云フコトハ既ニ諸君モ御承知デアル、既ニ二月五日ヲ以テ火入式ヲ行ヒ其結果ハ未ダ私ノ耳ニハ達シナイガ定メテ漸次良イ材料ヲ造ルト云フコトハ深ク信シテ疑ハヌ、幸ニ銑鐵ノ如キ海軍デ要スル所ノ銑鐵

ニ匹敵スルモノガ出來タナラバ國家ノタメニ諸君ト共ニ悅ブノデアル、此銑鐵ノ如キ燐及硫黃ハ殆ド一萬分ノ二以上ヲ含有シテハ海軍ノ材料ニハナラヌト云フコトハ技術者ガ屢々斷言致シテ居ルノデアリマス、願ハクバスノ如キ善良ナルモノヲバ造ルコトヲ努メ且ツ望ンデ居リマス、吳造兵廠ノ擴張費ノ問題ナルモノハ是ハ如何ナルモノデアルカト云フト、マルデ雲泥ノ違ヒデアル、ソコデ吳ノ造兵廠デ造ラントスル所ノモノハ軍艦用ノ装甲板ノ如キ砲楯所ノ材料又ハ彈丸及魚形水雷、敷設水雷其他諸般ノ鑄物、舉ゲテ海軍兵器ノ總テノ獨立ノ基礎ヲ固クスルノミナラズ、國家有事ノ際ニハ之ヲ以テ軍器ノ獨立ヲ完ウスルト云フコトニナルノデアリマス、就此問題ヲ提出スルニ至ツテハ前ノ政府ニ於テ既ニ枝光ノ行懸リモゴザイマシタカラ深ク講究致シタノデアリマス、故ニ枝光製鐵所ノ關係ハ今申シマシタヤウナ理由デアリマスニ依ツテ、是ハ兵器ニ直接關係アルノミナラズ、兵器デアルカラシテ兵器ノ獨立ヲ爲スニハ即チ海軍省デナスガ宜シトイト云フコトニ決定ノ結果、前内閣ニ於テ之ヲ定メ、此内閣ニ於テモ均シク此目的ヲ以テ進ンダノデゴザイマス、然ルニ先程委員長カラモ御報告アリマシタ通衆議院ニ於テ和田長官ノ言ノ如キ云々ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ其人ノ議論ヲ駁撃スル價值ハナク、又駁撃スルノ必要ハナイト私ハ思フ、御承知ノ通政府委員ニアラズシテ枝光製鐵所ノ長官デアルカラ技術上質問ヲシタイト云フ箇條ガアルト云フ衆議院ノ豫算委員ノ請求ニ依ツテ農商務大臣ガ呼バレテ其監督ノ下ニ於テ陳辯サレタノデアリマス、製鐵所長官ガ言ハレタヤウナコトハ成ル程技術者トシテハ一己ノ意見ガアルカモ知ラヌ、是等ハ決シテ全ク價值ノナイ議論デアルト云ノ豫算委員ノ請求ニ依ツテ農商務大臣ガ呼バレテ其監督ノ下ニ於テ陳辯サレマシテハ、其選ニ御當リニナリマシタ所ノ御方よりハ本官始メ政府委員ニ向ツテ慎重ノ態度ハ無論申スマデモナク丁寧反覆、非常ナル御議論ノアリマシタル、所デ貴族院ニ此問題ガ回リマシタ以來、分科會及委員總會ニ於カセラレマシテハ、其選ニ御當リニナリマシタ所ノ御方よりハ本官始メ政府委員ニ向ツテ提出スルニ當リマシテハ、深ク諸般ノ事ヲ考へ又國家經濟ノ上ニモ考ヘタノデアル、ソコデドコマデモ此問題ハ全然不同意ダト云フ意味デハナクシテ一年ヲ延期スレバドウデアル、延期スルニ附イテモ調査モ多少致シタイ、又農商務省ノ行懸リモアルト云フコトデアル、是レ偏ニ政府ノ責任ニ屬スルコトデアラズ御調査ハ如何程アッテモ宜シイ、唯遺憾ナコトハ政府ノ方面ニ於テ

農商務、海軍兩省ノ間ニ行達ガアルト云フコトハ本官ニ御問ニナレバ不肖ナガラ御答スルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、決シテ斯ウ云フ小サイ問題ニ論及スル必要ハナイト考ヘテ居リマス、ソコデ一體枝光ノ製鐵所ニ於テ如何ニ之ヲ望ムトモ政府ハ枝光製鐵所ヲシテ斯ノ如キ事業ヲ爲サシメルト云フコトハ經濟ノ上ニ於テ不得策ナルノミナラズ、國防ノ大計ニ於テ斷ジテ出来ヌト云フコトヲ明言シテ憚ラヌ、叔之ヲ地形ヨリ論ズレバ、軍事ニ經驗アル諸君ガ皆居ラレルノデアリマスガ、枝光ノ海邊ニ於キマシテハ浚渫ヲ爲スト雖モ二十二三呪ノ「ドラフト」ニ達シ得ル範圍デナケレバイカヌ、是ハ船デ申セバ小艦デアル、今ヤ大軍艦ハ如何ナル吃水ヲ持ッテ居ルカト言ハバ大抵二十六呪以上デアル、是ハ船ノ吃水ダケ、サウシテ其沿岸ニハドウデアルカト言ヘバ大軍艦ハ陸地ヲ離レル七八千「メートル」ノ距離ニ碇泊ヲシナケレバナラヌ、假令之ヲ枝光ノ製鐵所デ出來ルト假定センカ、之ヲ持ッテ吳軍港ニ運バシムルト云フコトニ附イテ如何ナル手段方法ヲ採ルカト云フコトヲレーン」ヲ用ヒナケレバナラヌ、又「ライタ」ヲ近イ所ニ入レルコトヲ要スルトスレバ考ヘナケレバナラヌ、又「ク

之ニ向ツテ諸般ノ設備ガ無ケレバナラヌ、即チ海邊ニ在ツテハ百噸以上ノ「クレーン」ヲ用ヒナケレバナラヌ、又枝光製鐵所ハ兵器ヲ造ル所ノ機械ノ設備ハ一モ無イノデアル、此設備モ亦從ツテ増サ子バナラヌ、故ニ起業費ニ於テ夥多ノ差ガ起ルト云フコトハ明瞭ナコトデアルト信ズルノデアル、之ヲ吳軍港ニ於テスレバ今申ス通リ十二時ノ大砲ヲ製作スルタメニ要スル設備、器械其物ヲ利用シテ大砲ノ砲楯、砲障、並ニ軍艦用ノ鋼板ヲ製作スル所ノ器具機械ヲ造ルモノニマデモ用便ヲスル、誠ニ一舉兩得ノ話デハアリマセヌカ、

扱是ヨリ地形ヲ論ジテ見テモ誠ニ防禦上ニ於テ良港ナルノミナラズ百噸「クレーン」ノ起重器ノ下ニハ優ニ大軍艦ヲ横附ニスルコトガ出來ルノミナラズ、ソコニハ鐵道ノ敷設モアリ工場ニ直チニ運送スルコトガ出來、以テ有事ノ際ニハ如何ナルコトヲモ爲シ得ル仕掛ガ今致シテアルノデアル、此場合ニ至ツテ直接關係ハゴザイマセヌガ間接ニ我ニ海軍軍人並ニ國民ノ安心ヲスルタメニ大ニ考ヘナケレバナラヌコトガアルノデゴザイマス、海陸ノ動作ハ大ニ異ナルモノデアルト云フコトハ御承知ノコトデアリマセウ、諸君、既ニ國家ノ非常ニ際シテ某軍港ヲ一令ノ下ニ發スルトキニハ軍紀整肅ハ申スマデモナク、立ドコロニ諸般ノ命令ニ對シテ之ガ長タル者ハ作戰其宜シキヲ取ツテ、サウシテ始テ其目的地ニ向フノデアル、此場合ニ當リテハ……ナゼカト云ヘバ即チ一回戦ノ後ニハ如何ナル隊形ニ變化ヲ持ツデアルト云フコトハ是ガ長

官タル者ハ豫メ考ヘ子バナラヌ、此一等戰艦巡洋艦以上ノ船ハ先キニ申ス通悉ク裝甲即チ厚イ板ヲ張ツテ居ルノデアル、若シ不幸ナ出來事ニ出遇ヒ、サウシテ一彈ヲ此板ニ被ツタナラバ是ガ修理ト云フコトハ爲スコトガ出來マセス、故ニ戰鬪隊形ノ勢力ト云フモノヲ直チニ是ヨリ減殺セズバナラヌト云フコトハ實ニ忍ビナイコトデアルト深ク考ヘルノデアル、是等後顧ノ憂ヲ遺スコトナク實ニ一タビ港ヲ立ツト云フト電信其他ノ聯絡ヲ缺キ終始其責任アル所ノ長官ノ判断ニ任せ子バナラヌ、斯ノ如キ重大ナル職責ヲ擔フ所ノ將校以下ノ任務ニ於テ誠ニ容易ナラヌ考ヲ起サセルト云フコトハ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、是ハ諸君モ定メシ御同感デアラウト思フ、然ラバ政府ハ之ニ向テ平常如何ナルコトヲスルカト云フト、今日ノ場合ニ於テ殊ニ東洋多事ノ際ニ於テ……東洋多事ト云フコトヲ口癖ノ様ニ谷子爵モ仰セラレマシタガ、是ハモウ申スマデモナイコトデアル、併ナガラ是等ヲシテ満足ニドウ云フ日月ノ間ニ斯ウ云フ經綸デ斯ウ云フ仕事ヲ仕上グルノデアルト云フコトヲ思ハシメタナラバ、進ムニ勇ニシテ退クニモ亦……進ムニ二倍ノ勇氣ヲ鼓シテ總テノ算畫ガ立ツノデアル、實ニ之ヲ一年延シテ見タラドウデアル、一年延スト云フコトハ容易ノコトデハナイ、ト云フモノハ此一年間ハ何ヲスルカ、即チ之ヲ建テル所ノ經畫ニ依リ約束ヲ致シ、サウシテ材料等ヲ蒐集スルト云フノデアル、材料ヲ蒐集スルト云フノハ初年一年ニ瓦ラナケレバナラヌ、第二年度ハ始テ器械ノ据付ニ著手シ、サウシテ又ソコニ建築ヲスルノデゴザイマス、成ル程一年延シテ四年ニシタラ宜カラウト云フ論ガアリマスルケレドモ、ドウシタ所ガ容易ナコトデハナイ、又之ヲ他ノ技術ノ方カラ申シマスレバ既ニ是マデ研究ヲ致シ諸般ノ業務ヨリ研究ヲ致シタ結果トシテ此熱ヲ冷ナラシメルト云フノハ甚ダ容易ノコトデハナイノデ、之ニ加フルニ今日ノ形勢ニ於テ一刻ダモ之ヲ忽セニシテハナラスト云フノデアルタメニ今本官ガ諸般ノ點ニ於テ、會期モ切迫致シタ今日ニ於テ、長イ演説ヲスルト云フノハ甚ダ好マヌノデアリマスルガ、事茲ニ至リマシテハ誠ニ已ムヲ得ヌコトデゴザイマスル、故ニ賢明ナル諸君ノ御判断ニ訴ヘマシテ滿場一致ヲ以テ此問題ヲ御贊成、原案ノ如ク復活ニ御贊成ニナランコトヲ偏ニ希望致シテ置キマス

○子爵谷干城君 チヨツト言ヒ落シタコトガゴザイマスカラ、チヨツト申上ゲタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 爰カラ申シマス、今海軍大臣ヨリ縷々御説ヲ承リマシタ

ガ、前日來ノ御説ト一向變リマセヌ、ソレカラシヲ和田長官ヲ喚ンデ貴ヒタ

イト云フコトハ曾我子爵カラシテ主査會デ御請求ニナッタト考ヘマス、トコロ

ガドウモ政府ノ都合、最早期モ切迫シテ居ルカラ、ヨシテ貴ヒタイト云フ断

リデゴザイマシタカラ、ソレ故ニ曾我子爵モ據ナク御コタヘニナッタコト、考

ヘマス、詰リ此前ニ報告ノ時ニ申シテ置キマシタ通、海軍ノ方ハ誠ニ其答辯

ヲスル方二人ヲ得テ居ル、農商務省ノ方ハ遺憾ナガラ其人ヲ得ナイ、又少モ

技倅ト云フサウ云フ方ノ技術ト云フ方ニ關係ノ無イ人ガ出テ居ツタヤウデゴ

ザイマス、此大事業ヲ決スルニ於テハ和田長官ノ説ヲ十分ニ聞イテ然ル後ニ

決スルト云フノガ主査ノ主意デアリマシタカラ、其和田長官ヲ喚ンデ貴ヒタ

イト云フコトヲ請求シタケレドモ、出來ナカッタ云フコトヲ私ガ申落シマ

シタカラ、ソレヲ諸君ノ御参考ノタメニ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 時刻ガ参リマシタカラ休憩致シマス

午前十一時四十九分休憩

午後一時九分開議

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔仙石書記官朗讀〕

今二十日政府提出司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案ヲ受領シタリ
水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案兩院協議會委員ニ於テ互選シタル議

長及副議長ノ氏名左ノ如シ

議長 公爵二條 基弘君 副議長 伯爵正親町 實正君

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

府縣制中改正法律案外三件特別委員會

委員長 子爵長岡 護美君 副委員長 子爵山内 豊誠君

北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵平松 時厚君 副委員長 子爵一柳 末徳君

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

〔男爵岡内重俊君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 岡内君ハ何デスカ

○男爵岡内重俊君 チヨット意見ヲ述べマスガ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 意見ハ通告ガアリマスカラ其順序ニ依ラナケレバ

ナリマセヌ

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 曾我子爵ハ何デス

○子爵曾我祐準君 本員ハ反對演説ヲ致シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 贊成ノ方ノ通告ガアリマス

○子爵曾我祐準君 唯今ハ反對ノ方ガ立ツベキ順序デアラウト思ヒマス、通告ハ致シテアリマセヌガ……

○議長(公爵近衛篤麿君) サウデゴザイマス、宜シウゴザイマス

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 諸君、本員ハ委員會ノ報告ノ如ク否決スベシト云フ論者

ノ一人デゴザイマス、今午前ニ於テ海軍大臣ハ非常ナ熱心ヲ以テ滿腔ノ熱血ヲ灑イデ本案維持ノ演説ヲサレマシタ、實ニ是ハ近來稀ナル大演説デアリマ

シタ、因ツテ本案ノ提出サレタル理由竝ニ本案ヲ維持セラル、所ノ必要ナル理由ハ諸君篤ト御分リノコト、信ジマス、海軍大臣ハ日本ニ於ケル造船ノ歴史、竝ニ造兵ノ歴史ヨリ説キ起サレマシテ其進歩ノ次第、竝ニ現況ニ及ビ、

而シテ装甲板ノ製造、即チ兵器ノ製造ニ伴ウテ甲鐵板ノ製造ハ日本ニ於テ一日モ早ク成立セバナラスト云フ主意ヲ述べラレマシタ、而シテ又更ニ枝光

トノ關係ヲ述ベラレマシタ、サウシテ漸ク本題ニ入りマシタ、此前過半ニ於キマシテハ此問題トハ殆ド關係ハ無イヤウナモノデアリマス、唯是マデ海軍ガ造兵ニ造船ニ力ヲ盡シテ其成效ノ美事ニアッタ云フコトヲ申サレルノ

デアッテ、察スル所最モ此製鋼ノ如キモ必ズ甲鐵板ノ製造ノ如キモ必ズ成效スルト云フ前提ニ掲ゲ示サレタモノト推察サレルノデアリマス、本員等ハ豫算

委員ノ一人デアッテ、而シテ又第四分科ノ一人デアリマス、本員等ガ此案ニ附イテ調査シタ次第ハ速記録ニ載セテアリマスケレドモ、諸君十分ニ御讀ノ暇モアリマスマイト考ヘマスニ依ツテ此調査ノ次第ヲ少シ申上ゲマス、此調

査ニ於テ最モ要點ト認ムル箇條ガ四箇條バカリアルカノ如ク認メマシタ、第一ニハ專賣權ノコトデアリマス、第二ニハ此装甲板ノ製造及試験ノコトデア

リマス、第三ニハ技師及職工ノコトデアリマス、第四ニハ代價イコトデアリマス、是等ハ最モ此案ヲ決スルニ附イテ必要デアラウト認メマシタニ依ツテ

隨分詳ニ是ハ問ヒマシタノデアリマス、第一ノ專賣權ノコトニ於キマシテハ外國ニ於キマシテモ此甲鐵板、即チ「ニッケルクロームスチール」ト云フモ

ノ、即チ軍艦ニ張ル所ノ板ト云フモノハ「クルップ」ノ發明デアル、最モ良イ

所ノ板ナノデアル、即チ「ニッケルクロームスチール」ト云フ所ノモノハ「クルップ」ガ發明デアツテ、他ノ各外國ニ於テモ其專賣權ヲ買ヒ、且ツ其專賣權ヲ先取シテ各國ニ於テモヤツテ居ルコトハ明ナル事實デアル、今吳ニ於テ造ル所ノモノハ吳「システム」トシテ一種ノモノト名ケテ、即チ吳式ト名ヲ附ケルト云フコトデハアリマスガ、ソレハ實際「クローム」ト「ニッケルクローム」ト言ッテ居ル、此「ニッケルスチール」ト紛レナインハ事實デアラウト信ズルノデアリマス、ソレカラ今マデノ鋼板デアルト一尺七八寸ノ厚サガナケレバナラヌノガ、此新イ所ノ發明ニ據ルト七寸八寸デ防ダルト云フ非常ニ便益ナ利益ノ發明デアルト云フコトハ藏フベカラザルコトデアリマス、是ハ本院デ言フコトガ初メデハアリマセヌ、衆議院ニ於テ其事ハ明ニ述ベラレテ居リマス、斯ノ如キ譯デアルニ依ツテ此專賣ト云フモノハ日本デハ其專賣權ヲ買取ラヌデモ宜イカト云フ質問ニ對シテハ政府委員ハ斯様ニ答ヘラレシタ、ソレヲ買ウテ居ルノハ總テ私立ノ會社デ、是ハ歐羅巴亞米利加ニ通ジテ詰リ「バテント」ヲ取ッテアリマスカラ、此專賣權ヲ買ハズニ彼等ニハ出來ナイ、是ヨリ多クノ説明ハ與ヘラレズ、又是ヨリ多クハ問ヒマセヌデアツタガ、察スルニ亞米利加歐羅巴デハ「バテント」ヲ買ハナクテハナラヌガ、日本デハ買ハナクテモ宜イト云フ意味ノ如ク、而シテ又私立會社デアルナラ買ハナケレバナラヌ、政府ナラバ買ハヌデモ宜シイカノ如ク取レマス、此事ハ一種ノ法律問題デアリマシテ研究スル暇モアリマセヌガ、併ナガラ衆議院ニ於キマジテノ速記録ヲ見マスレバ和田製鐵所長官ガ專賣ヲ買ヒニ行キ傳習ヲ受ケテ而シテ此事ヲ研究シタ方ガ誠ニ安全デアル最モ安全ナル利益ナル仕事デアルト云フ、斯様ニ辯ゼラレテ居ルコトヲ諸君ノ御参考ノタヌニ一言辯ジテ置キマス、ソレカラ又第二ノ裝甲板製造及其試驗ノコト、各國ニ於テ「クルップ」ノ發明ノ專賣權ヲ買ヒ、若クハ傳習シテ造ル所ノ各國ニ於テモ、本家本元ノ「クルップ」ノ裝甲板ノ如キ美事ナモノハ出來ヌト云フコトヲ承リ居ルノデアリマスニ依ツテ、日本デ今造ル所ノモノハ果シテ本家本元ノ如ク美事ナモノガ出來ルヤ否ヤ、斯ノ如キ御試驗ハ如何デアルカト云フ斯ノ如キ問ハ自然ノ順序トシテ發セザルヲ得スカラ問ヒマシタノデアリマス、ソレニ對シテ言ハル、ニハ、研究致サナケレバドウモ唯今確答ハ出來マセヌ、併ナガラ今日世ノ中ニ現在スル所ノ裝甲板デ人間ノ力ノ及ブダケノモノハドウカスウカ研究次第其處マデハ漕ぎ著ケル決心デゴザイマスト言ハレタ、如何デアリマス、唯今確言ハ出來ナイト言ハレタ、屹度十分ナモノガ御出來ニナルカト云フ問ニ對シテ、ソレハ確言

ハ出來マセヌ、併ナガラ人間ノ力デ及ブダケノモノハドウカスウカ研究次第
デハ漕ギ著ケルデアラウ……漕ギ著ケタト云フノデハナイ是カラ先ノ勉強ト
研究ニ依テドウカスウカ漕ギ著ケルデアラウト云フ、斯ウ云フ答辯ナノデ
アリマス、ソレカラ又第二ノ技師職工ハ如何ナルモノヲ用キルヤト云フ問ニ
對シテハ、數年前ヨリ各國二人ヲ派遣シテ各所ノ製造所ニ於テ稽古ヲサセテ
居ル、熟練ナ者ヲ數十人得テ居ル、而シテ尙ホ言ハレマスニハ吳ニ於ケル設備
ガ成リ次第ニ研究ハ十分ニ進ミマセウ、今度要求シタル所ノ金ヲ得テ其製造
所ガ成立シタ以上、即チ設備ガ出來タ以上ハ研究ハ十分ニ進ミマセウト言ハ
レタ、是ハ今日研究ノ十分デナイト云フコトヲ證明シタ語ニ當ル、第四ニハ又
代價ノコトニ附イテ問ヒ質シマシタ、外國カラ買ヒマスト一頓千三百圓モ出
サナケレバナラヌ品ガ吳ニ於テ造レバ千圓デ出來ルト云フ主張ハ衆議院ノ速
記録ニ明ニ載ツテ居リマス、ソレ故ニ果シテ左様ニ三割モ違フモノデアルカト
云フ問ヲ出シマシタラバ、ソレニ對シテ斯様ニ申サレマシタ、千三百圓ノ物
ガ千圓デ出來ルト云フハ材料職工ノ手間ヲ入レテアル、斯様ナコトデゴザイ
マスニ依ツテ製造所ノ勘定ト云フモノハ斯ノ如キニ止ラヌノデアル、其製造
所ニ下ロシテ居ル所ノ資本並ニ建物職員ノ給料、總テ籠メ子バ製造品ノ價ハ
出ヌノデアル、ソレヲ入レタラバ如何ナ勘定デアルト問ヒマシタ、ソレハド
ウモ海軍ノ方デハ勘定ガ出來ナイ、種々經濟ガ違ツテ居ルカラ出來ナイト答ヘ
ラレタ、ソレヲ籠メタラ左程安イ物ニハ付カヌデハアリマセヌカト申シタラ、
サウ云フモノモ這入ツテ居リマヒヌ、千圓デ出來テモ高ク付クダラウト云フ
御考ハ或ハ當ツテ居ルカモ知レマセヌ、此第四ノ價ハ政府自身ガ其主張ノ權利
ヲ取消サレタノデアリマスカラ最早辯ズルコトハナイ、即チ我シノ推測スル
如ク安イ物デハナイト云フ御考ガ當ツテ居ルト云フカラ、是ハ最早論ズルコト
ハナイト思フ、右四箇條ニ對シテ問ヒマシタコトハ第四分科會ノ速記録ノ四
十四頁ト四十七頁ノ間ニ在リマス、諸君、本員ノ言ヲ御疑モアリマスマイガ
タメニ甚ダ不十分ノコトヲ申シタコトガアルト云ウテ演説若クハ其議論ノ修
正ヲ請求サレマシタ、即チ修正ノ如キ演説ヲサレマシタ、サリナガラ昨日總委員
會ニ於キマシテ政府委員ハ過日分科會ニ於テ申シタ所ハ議事ニ不慣デアッタ
事ニ不慣デアッタカ知リマセヌケレドモガ、演説ノ修正ヲシ取消スコトガ出來
ヌコトハ貴族院規則ニ在ル通デアリマス、跡ヨリ說ヲ變ヘテ修正スルコトハ
正ヲ請求サレマシタ、即チ修正ノ如キ演説ヲサレマシタ、サリナガラ是ハ議
出來マセヌ、寧ロ議事規則ノ方ヲ御慣デナカツカコトデ斯ノ如キコトヲ申サレ

タコトデアラウト思ヒマス、又枝光ノ議論ニ附キマシテ縷々海軍大臣モ先刻ヨリ申サレタノハ御存ノ通デアルガ、諸君モ御承知ノ通ニ兵器獨立ト云フ問題ヨリシテ先年本院ヨリ建議ナドニモナリマシテ、度々政府トモ争ヒマシタ結果、製造所即チ枝光製鐵所ト云フモノガ成立シタコトハ御承知ノ通デアリマス、然ルニ其第一ノ主意ハ兵器獨立デアリマシタガ、數年前ニ農商務省ヨリ議院ニ向ツテ四百萬圓要求サレタノヲ始メトシテ、尙ホ追ヒ増シ追ヒ増シニナツテ千何百萬圓ト云フ即チ二千萬圓ニ近イ金ニナツテ居リマス、是レ亦諸君御承知ノ通デアリマスガ、其出マス時分ニハ兵器製造ト云フコトハ後ニ殆ド加ツテ居ラヌカノ形ニナツテ參ツタ、初ハ兵器製造ノ積デアッタガ、後ニハ兵器製造ト云フコトハ何處ヘカ行ツタ、少シ立消ト云フヤウナ形ニナツテ居リマスコトハ實際デアリマス、サリナガラ兵器ニ使フ鐵ト云フモノハ最モ精良ナル最モムヅカシイモノヲ要スルガタメニ、ソレハ突然ソレヲ始メルト云フ譯ニハイカヌ、又ソレヨリ始メルノハ甚ダ不利益デアル、ソレ故ニ易キヨリ漸々進ンデ行クト云フコトガ即チ枝光製鐵所ノ順序デアリマス、今尙ホアノ上ニ數百萬圓ヲ加ヘタナラバ、本院ヨリ建議ナドヲ致シタル所ノ第一番ノ目的ニ立戾ツテ、即チ海軍ノ需要ヲ充スト云フコトハ出來得ルデアリマセウ、海軍大臣ハ先刻若モ枝光製造所ガ兵器ノタメニ出來トルト云フ精神ナラバ政府ヲ代表シテ取消シモシヤウト云フコトハ言ハレマシタ、是レ亦速記録ノ取消ト同ジコトデ、數年前議院ガ其意思ヲ以テ決シタモノヲ今日ヨリ取消シテモ何ノ效ハ無イ、若シ今日ナラバ取消デハナイ、方法ヲ變ズルノデアル、初メヲ造ルマデニ至ラヌト云フハ、易キ所ヨリ段々難イ所ニ向ツテ進ミツ、アル事實デアリマス、又日本ノ如キ財政ノ裕餘ナキ國デ斯ノ如キ大金ノ製造所ヲ造ルト云フコトハ餘程注意セナクテハナラヌ、計算ノ點ヨリ注意シナケレバナラヌ、即チ枝光ニ二千萬圓ノ金ヲ掛ケテ大キナル製造所ガアル、ソレニ若此鋼鐵板ヲ造ル所ヲ附加ヘタガ果シテ便利デアルヤ、又ハ吳ハ製鋼ノコトガ多少進ンデ居ルカラ吳ニ附加ヘタガ良イカト云フコトハ是ハ大ナル問題デアル、海軍大臣ハ枝光デハ出來マセヌ、左様ニ申サレマシタ、果シテ出來ナラヌ、サリナガラ私ハ又ソレニ對シテ、吳デモ出來マセヌト云フ語ヲ使フコトハ此鋼鐵板ヲ造ル所ヲ附加ヘタガ果シテ便利デアルヤ、又ハ吳ハ製鋼ノコトガ好カツタカラ其後ノモ必ズ好イト云フコトハ期シ難イコトデアル、前ニハ成功シテ後ニ誤ツタル例ハ外國ニモ日本ニモ其例ハ決シテ乏カラヌ、一例ヲ舉カツタコトヲ述べラレマシタ、如何ニモ好カツタニ相違ナイ、サリナガラ以前ケレバユカシウスト云フ發明家、即チ陸軍大佐ノユカシウスト云フ者ハ澳地利ノ人デアルガ、是ガ「ユカシウス」式ト云ツテ今日マデ傳ツテ居ル所ノ鋼ノ黃銅ノ鐵砲ヲ發明シタ、即チ「ユカシウス」式ト云ツテ今日陸軍デモ使ツテ居ル野リタイト言フノデアリマスカラ、今日出來ヌコトハ分ツテ居リマス、吳デモ出

來マセス、枝光デモ出來マセス、即チ此軍艦ニ張ル所ノ鋼鐵板ハドツチデモ出來ヌ、出來ナイカラコソ要求サレタノデアル、今日ニ於テ出來ナイコトハ同様デアル、即チ數百萬圓ノ金ヲ投ジタナラバ吳デ出來ルコトハ枝光デ出來ヌニモ限リスママイ、和田長官ガ縷々衆議院デ辯ゼラレマシタ所ノモノハアレハ和田一己ノ說デアル、決シテ政府ヲ代表シテ言ウタノデハナイ、政府委員デガラ和田ハ工學博士トシテ斯道ニ餘程達シタ人デアル、而シテ實際枝光ノ事ハ已ガ擔當シテ居ルカラ、政府ヲ代表シテ言ウタノデナク、一個人デ言フタニモセヨ、此人ノ言フコトハ道理ノ立ツタ上ニ附イテハ何等關係ヲ持タナイコトハ申スマデモナイコトデアル、先刻委員長ヨリ報告サレマシタル如ク本案ヲ否決スル主意ト云フモノハ決シテ鋼鐵板ヲ日本デ造ルコトガ不需要ナリト言フコトデハアリマセス、東洋ノ形勢上、日本ニ於テハ十分ニ軍艦ヲ造ルト云フコトガ決シテ不需要ナルコトヲ認メテデハアリマセス、不需要ナイト認メマスカラシテ尙ホ之ヲ鄭重ニシテ間違ハヌヤウニシナクテハナラヌ、サリナガラソレト同時ニ日本ノヤウナ金ノ少イ國デナ國デハ慎マケレバナラヌ、無駄ナ金ハ使ハヌヤウニシナクテハナラヌ、無駄ナ金ヲ使ハヌヤウニシナクテハナラヌ、サリナガラソレト同時ニ日本ノヤウナ金ノ少イ國デハ、無論金ノ多イ國デモ同ジコトデアルガ、別シテ經濟ノ點ニハ日本ノヤウナラヌ、即チ枝光ニスベキカ、或ハ吳ニスベキカ、而シテ今日海軍省ガ執ナラヌ、即チ枝光ニスベキカ、或ハ吳ニスベキカ、而シテ今日海軍省ガ執テ居ル所ノ傳習モセズ「バテンント」モ買ハズ、自分考ト言ツテハ失敬デヤガ、自分考ヲ以テヤラレテ出來レバ結構デアルガ、若シ誤ハシナカト云フコトハ大ニ此デ考ヘテ見ナケレバナラヌ、海軍大臣ハ縷々製鋼ノ結果ノ海軍デ好カツタコトヲ述ベラレマシタ、如何ニモ好カツタニ相違ナイ、サリナガラ以前ノガ好カツタカラ其後ノモ必ズ好イト云フコトハ期シ難イコトデアル、前ニハ成功シテ後ニ誤ツタル例ハ外國ニモ日本ニモ其例ハ決シテ乏カラヌ、一例ヲ舉カツタコトヲ述ベラレマシタ、如何ニモ好カツタニ相違ナイ、サリナガラ以前ノガ好カツタカラ其後ノモ必ズ好イト云フコトハ期シ難イコトデアル、前ニハ成功シテ後ニ誤ツタル例ハ外國ニモ日本ニモ其例ハ決シテ乏カラヌ、一例ヲ舉ケレバユカシウスト云フ發明家、即チ陸軍大佐ノユカシウスト云フ者ハ澳地利ノ人デアルガ、是ガ「ユカシウス」式ト云ツテ今日マデ傳ツテ居ル所ノ鋼ノ黃銅ノ鐵砲ヲ發明シタ、即チ「ユカシウス」式ト云ツテ今日陸軍デモ使ツテ居ル野リタイト言フノデアリマス、其ユカシウスガ「ユカシウス」式ト云フモノヲ

美事ニ成功シマシタ、サリナガラ最後ニ尙ホ大キナ大砲ヲ造ラントシテ誤ツテ製造所ヲ焼イテ仕舞ツタ、ソレガタメニ己ハ殘念デアルト云フ所カラ狂人ニナッタト云フコトヲ承テ居ル、前ニ成功シテ後ニ不成功ヲ來スト云フコトガアル以上ハ、海軍ノ大砲ニ於テハ其成績ガ好カツタ、サリナガラ鐵板ニ附イテモ成功ガ必ズ好イト云フ判定ハ下シ得ヌト思ヒマス、海軍大臣ト本員等ノ問答ト、分科會ヲ始メトシテ本豫算會ニ於キマシテモ又先刻此席ニ於キマシテモ繰返シ繰返シ同ジコトヲ度ミ聞キマシタガ、詰リ海軍大臣ヨリ辯ゼラレタ所ハ、是マデノ成績ガ好カツタカラ是ハ疑ツテ吳レルナト云フコト、東洋ノ形勢、船ヲ造ルコトノ今日一日モ忽セニスペカラザルト云フ此ニガ重モナ點デアル、此二點即チ東洋ノ形勢ニ於テ必要ナルコトハ先刻モ申ス通是ハ滿場一人モ不同意ハナカラウ、必ズソレハ是認シテ居ルニ相違ナイ、又之ヲ急グト云フコトノ點ニ附イテモ是認シテ居ルニ相違ナイ、サリナガラ縱シヤ一年此事ヲ後ラシテモ決シテ製鋼ノ上ニ附イテ後レナイト云フコトハ委員會デ喋論ジテ置キマシタ、先刻海軍大臣モソレニ附イテハ議論ガアリマセヌカラモウソレハ措キマス、縱シヤ一年後レマシテモ其製鋼ハ一年後レナイト云フコトハ委員會ニ於テ調査シ終ツテ居リマス、右ノ理由アルガタメニ本員等ハ本案ハ否決スベキモノト決シタノデアリマス、願ハクハ諸君、本員等ノ議論ヲ能ク御酌取リ下サツテ否決ニ賛成アランコトヲ希望スルノデアリマス

〔男爵本田親雄君演壇ニ登ル〕

○男爵本田親雄君 諸君、本員ハ此問題ニ附キマシテ是ハ國家ノ事業ノ中デノ必要缺クベカラサルモノデアル、故ニ熱心ニ之ヲ貫徹センコトヲ希望スル一人デアリマス、勿論豫算ノ委員デアツテ陸海軍ノ方ニ回リマシテ第四科ノ委員ニナリマシテ、今ノ反対者諸君トモ追々論究モ致シマシタ、又委員總會ニ於テモ論ジマシタ、ソレデ同ジコトヲ繰返シテ申スヤウデハゴザイマスケレドモ、茲ニ至ラテ反対者ノ説ニ附イテ本員等ノ見ル所ヲ申サヌケレバナラヌ場合ニ立至リマシタ、重複ニ涉ル譯デハアリマスガ暫ク諸君ノ御清聽ヲ煩ス積デゴザイマス、今、反対者ノ一人曾我子爵ヨリ段々御話ノ中ニ要領ヲ四箇條バカリ述ベラレマシタガ、第一ニ專賣權ノコトヲ論セラレマシタ、是ハ製鐵所長官ノ和田某ガ、專賣權ヲ買入レテ技師モ雇入レテスル方ガ安全デアル、此説ガ宜シイ、斯ウ云フコトデ唯今諸君ノ御聽ノ通デアリマスカラ別ニ繰返シマセヌガ、本員等ノ見ル所デハ大キニ違ヒマス、抑、專賣權ノコトハ是ハ官業ニスレバ專賣ヲ買ハナイデモ宜イトカ、惡イトカ是ハ反対者モ言ハレ

ル通御承知ノ問題デアル、併シ私ハ當局政府ノ大臣ノ言フ所ニ信ジマシテ、買ハヌデモ宜イコトヲ固ク信ジテ居リマス、ソレハモウ喋々申シマセヌ、然ルニ此製鐵所長官ノ和田某ガ一己ノ考トシテ衆議院ノ尋ニ應ジテ答ヘマシタ主意ト申スモノハ枝光ニ於テハマダ左様ナ計畫ハ致サヌ、然ルニ農商務省ヨリ他ノ用ニ附イテ出シタモノ、序ニ此事ヲ枝光ニ於テ造ルトキハ如何ナル手續ヲ以テスルカ、或ハ專賣ハドノ位ノ價デ買ヒ得ルヤ否ヤ、職工技師ヲ雇ウテ之ヲ日本ニ建ツルニハドノ位ノ費用ガ要ルヤ否ヤ等ノコトヲ取調ニ掛ツテ居ル、ソレヲ聞クニハ彼ノ獨逸ト「エゼント」ヲ組ンデ居ル所ノイカサマ、番デアル、此ニガ重モナ點ニ相違ナイ、又之ヲ急グト云フコトノ點ニ附イテハ議論ガアリマセヌガ、ソレニ賴ンデ頭ミタヤウナ者デアリマセウガ、其處ハ一向能ク知リマセヌガ、ソレニ御覽ニ探索ヲシテ見タ所ガ凡ソ專賣權ヲ買フニハ八百萬圓位ト云フコトデアル、ソレカラ此鋼鐵ヲ使フニハ一噸ニ附イテ五十圓ヅ、ノ專賣稅ヲ拂ハナケレバナラヌト、斯ウ云フコトデアラウト思ヒマスカラ、是モ委シクハ申シマセヌガ、其八百萬圓ト申ス中ニ此專賣權ハ籠ツテ居ルヤ否ヤ、此外ニ五十萬圓ヲ拂フヤ否ヤト云フコトハ速記録ヲ見マシテモソレハ明ニハ分ツテ居リマセヌ、然ルニ我邦デ之ヲ造ルニハ五十萬圓モ何モ入ラナイ、鋼鐵一噸ニ附イテ五十圓ノ噸稅ト云フモノヲ出スニモ及バナイ、斯ウ云フコトハ我ニモ信ジテ居リマス、衆議院ノ速記録ヲ御覽ニナッタ諸君ハ固ヨリ御承知デゴザイマセウ、其方ガ安全デアル、此專賣ヲ買ウテ技師技手モ西洋ヨリ傭入レテスル方ガ安全デアルト云フニ附イテハ、唯ソレバカリ言フタノデハ無イ、是モ速記録ニ詳ニ載ツテ居リマス、ソレハ固ヨリ初テノコトデアルシ、製鐵所長官ノ和田某ハ、言葉ノ續ハ私ガ申スヤウデハアリマスマイガ、其意ハ初ラノコトデアリマスカラ是ハ西洋ノ技師技手ヲ傭フテ專賣權ヲ買ウテスル方ガ安全デアリマセウ、斯ウ言ウタコト、存ジマス、海軍省デハソレニ附イテハ多年ノ経験モアツテ、自ラ出來ルト云フ、自ラヲ信ジテ居ル譯デアルカラ、サウ言ハル、デゴザイマセウガ、和田長官ニ於テハサウ云フ自信力ハゴザイマセヌ、自ラ信ズル力ト云フモノヲ持ツテ居ナイ、ソレデ專賣權ヲ買フテ五十圓ノ專賣稅ヲ拂ウテモ、向フノ技師技手ヲ傭フテデモ、ソレガ安全デアラウ、斯ウ云フ主意ニナッテ居リマス、是ハ速記録ヲ御覽ナサレバ能ク分ル、我輩ハサウ云フ物入リラセヌデモ、コチラニハ技師モ居リ職工モ居ル、此事ニ附イテハ是モ矢張本邦ニ於テスル方ガ宜シイ、斯様ナ大切ナ兵器ヲ本邦デ造リ得ルト云フコトニナレ

バ、至極結構ナコトデアルト云フテ喜ンデ本邦ニ於テ造ルコトヲ賛成致シタノデアリマス、ソレカラ其次ニ裝甲板ヲ造リ得ルヤ否ヤト云フ問ニ、政府委員ノ答デドウカスウカ遣リ付ケマセウト言ウタ言葉ヲ擱マヘテ頻ニ御攻撃ニナリマシタケレドモ、是ハ政府ノ當局者ト雖モ技術官ト雖モ未ダ本邦ニ於テ鋼鐵板ヲ造ッタコトガナインデアリマスカラ、ドウカスウカ必ズ目的ヲ達シマセウト言ウタノハ、ソレハ造ッテ見ナイノヲ言フノデアリマスカラ、和田ガ自信力ガナイト云フマデノコトデハゴザイマセヌケレドモ、是マデノ經驗ニ依ツテ見マスルト、大砲ノ砲身ト言ヒ彈丸ト申シ、皆我ガ學び所ノ新式ノ鋼鐵ヲ以テ製シテ居ル、金ノ沸シヤウモ能ク熟シテ居ル、職工モソレニ熟シテ居ル者ガアル、ケレドモ此裝甲板ヲ造ル機械ガナイ、依ツテ此節此經計畫ヲ出シテ板ヲ造ラウト云フノデアル、既ニサウ云フ答ガ出タ筈デアルト我ヨハ信ズル、ソレデマダ手探リノコトデ、ドウニカ造ッタナラバ似タモノガ出來マセウト云フ位ノコトデハナイ、其事柄ト其場合トニ依ツテ右様ニ答ヘタ、併シ曾我子爵モ後トカラ申サレタ通ニ、是ハ言ヒヤウガ惡ルカッタ、場所モ不慣デアツタカラ、必ズ遣ル主意デアルト言直シタ、此位ノコトハ之ヲ攻撃セラル、ト云フノハ誠ニ薄弱ナ話デアツテ、本員等ハソレヲ取上げテドウ斯ウ申スデハゴザイマセヌケレドモ、諸君ノ御聽ヲ誤ラヌガタメニ之ヲ申シマス、ソレカラ第四ニ外國カラ買ウテハ高ク付ク、本邦デスレバ廉價ニ當ル、ソレハ職員ノ給料、ソレカラ其作業所ノ家屋等ヲ籠メテ計算ヲシタカト云フ御問デアツテ、ソレハ入ッテ居ラヌ、ソレガ入ラヌケレバ別ニ廉イト云フコト廉價ナリト云フコトハ言ハレヌデヤナイカト云フ話デゴザイマスガ、是ハ此前ニ委員會デノ段々ノ研究ヨリシテ廉不廉ノ話ガ出タノデアリマス、所獨リ鋼鐵板ニ限ラズ新式ノ鋼ニ限ラズ、日本ノ戰鬪力ヲ助クル所ノ海軍ノ武器ト云フモノヲ海外ヘ是マデ皆注文シテ居リマス、誠ニ本員等ハ常ニソレヲ慨嘆シテ、是ハドウモスウ云フ有様デハ日本ノ國防トモ云フ中ノ必要ナモノヲ悉ク海外ニ注文シテ、イザト云フ時ハソレヲ買入レルコトガ出來ナイト云フコトモ、最モは憂フベキコトデアル、此上ニ日本ノ財產ヲ外國ニ散ジテ仕舞フ、ソレハ何トカ云フト、本邦ニ於テ斯様ナ兵器ガ出來ナイ故デアル、ソレハ如何ニモ一日モ早ク本邦ニ於テ造ッテ、無駄ニ金ヲ海外ニ費サヌコトヲ希望スル熱心ト云フモノハ、是ハ諸君モ同ク憂ヘラル、コトデアラウト思ヒマス、ソレデ注文ヲシテ造ルノト、コチラデ造ルノトハドウアルカト云フト、凡ソ何デモ彼デモ皆サウデアルト云フコトハ諸君モ御承知ノ通デアル、然

ルニ大凡マア敷島艦ノ如キモノニ權衡ヲ取ッテ見マシタ所デ、海外ニ注文スルニ附テハ……餘リクダ——シウゴザイマスケレドモ、此處ニ聞イタコトヲ書イテ置イタモノガゴザイマスカラ申シマスガ、鐵板ガ一噸ニ付イテ千三百圓ノ見積、ソレカラ運賃費ガ一箇三十噸ノ比例デ噸ニ附イテ七十五圓、斯ウハ雛形ヲ造リ、其雛形ヲ入レル箱ヲ造ル、是等ノモノヲ合計シテ凡ソ六百二十三萬ナニガシト云フモノガ外國ヘノ注文高デアル、之ヲ内國デ製造シテ出來上高ガ、サウ云フ鐵ノ量モ彼是モ同ジニシテ見タラドウ當ルカト云フト、凡ソ四百四十四萬圓ナニガシト云フモノニ當ッテ、差引凡ソ百七十八萬ソレガシト云フモノガ廉價ニ當ル、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレハ曾我子爵ナドノ尋子ラル、所ノ職工ノ賃錢ガ鐵一噸ニ附イテ幾ラニ當ル、家ノ幾坪ガ幾ラニ當ルト云フマデ計算シタノデハナイノデアリマス、ソレヲ積ッテ見タラ同ジコトデハナイカト云フヤウナ議論モアリマシタケレドモ、我輩ノ廉不廉ト云フノハサウデハナイ、同ジ價デアツテモガ本邦デ造レバ本邦ニ落チル金デアル、從ツテ技術モ本邦デ造レバ益進シテ行ク、ドノミチ是ハ本邦デ造ルガ宜イト云フコトノ其價マデモ加ヘマシタナラバ大變ナ廉ニ當ルデアラウト思フ、ソレ是レデ反對者ノ何ガナ是ハ不足ノ所ノ穿鑿ヲシテ見ヤウト思セバ、我ヨハドウニカシテ本邦デ造ラセタイト云フ腦髓ト其處ガ違フノデアリマス、是等ノコトハ左マデ喋々論ズルニ及ビマセヌカラ、マア此アタリヲ御聽ニ入レテ置キマス、ソレカラ反對者ノ他ノ御論ニ此事業ヲ起スハ餘程重大ナルコトデアル更ニ調査ヲ要スルト云フノガ餘程勢力ガアルヤウデアリマス、ソレハ無論ノコト調査ヲセスケレバナリマセヌガ、本員等ノ說ハ既ニ此貴族院議員トシテノ調査ヲスルナド、云フコトハ技術上ニ涉ッテ、ソレヲ踏入ッテドウ斯ウスルコトハ出來ナイ、其造ル場所ト造リ得ルヤ否ヤト云フコト、甲ノ方デ造ッテ宜イカ乙ノ方デ造ッテ宜イカト云フヤウナ權衡ヲ調査スルヨリ外ハナイ、ソコデ甲ノ地ノ方ガ宜シイ、地形モ宜シイ、要害モ宜シト云フタラ甲ノ方ニ極メル、乙ノ方ガアツテ要害不堅固デアル、場所モ宜クナイト云フコトナラバ、矢張甲ノ方ニスル、技術ノ如何、技術ノコトハ甲ノ方ニ備ツテ居ル、技術者モ技術ヲ監督スル者モ、職工モソレ相應ニ備ツテ居ル、然ラバ乙ノ方ハドウデアルカ、サウ云フ技術者モナケレバ職工モ備ツテ居ナイ、サウ云フ經畫モナイト云フト矢張リ甲ノ方ニシナケレバナラヌ、サウ云フコトガ調查デアラウト思フノデアル、ソコデ枝光ト云フコトガ論說ノ

中ニ生ジテ來タ譯デアリマシテ、ソレハ今朝來枝光ト吳トノ利害ハ海軍大臣ヨリ詳細ニ述ベラレマシタカラ、本員ハ別ニ又繰返ス必要ハナカラウガ、併ナガラ委員會ニ於キマシテモ此要害上ニ於テドウデアルカ、既ニ今日ノ海外ノ軍艦ニ搭載シテ居ル大砲ト云フモノハ一萬「メートル」以上モ飛ンデ來ル、サウ云フ有様ノ所デアッテ甚ダ不要害ナ點モ見出シタ、ソレカラ其場所ニ備附ケテアル所ノ起重力モ堅固ナモノガアッテ、其處ニハ一万四五千噸ノ船ヲ横著ケニスルコトモ一向差支ナイト云フマデノ天然ノ良港ハ即チ吳デアル、乙ノ方ノ枝光ハドウデアルカト云フト、誠ニ危イモノデアル、彼ト是トヲ比シテ利害得失ヲ攻究シテ見タキニハ吳ノ方ガ宜イト云フヤウナコトガ調査デアラウト思ヒマス、其調査ハ既ニ我ミガ爲シ盡シタリト斯ウ云フヨリ外ハナイ、ソレカラ同ジ國ニシテ兵器ノ製造所ヲ二箇所モ三箇所モ立テルコトハ國ノ經濟トシテ甚ダ不利益デアル、兵器ノ獨立ハ元ト枝光ヲ以テ目的トシテ、議院カラモ建白ヲシテソレガタメニ政府ハ巨萬ノ金ヲ抛ツテ枝光ニヤッタデハナイ、カト云フヤウナコトモ、是モ反對者ノ言ハル、ノト我ミガ信ズル所ト其處ハ同シコトデアリマスケレドモ、是ハ政府ノ當局者、海軍モ大藏省モ同シ仕事ヲ今日デハシテ居ラナイ、枝光デ製シタ物ハ、物ニ依ツテハ海軍ニモ陸軍ニモ供給スル、併ナガラ此特種ノ新式ノ鋼鐵ニ至ツテハ枝光デハ造ル経畫ヲシテ居ナイ、是ハ必ズ擴張シテ出スヤウナモノヲ造ツデ愈、是ガ経畫ヲ立テレバ、サウ云フコトニ用キルコトニ今日デハナツテ居ル、斯ウ云フコトハ農務大臣モ衆議院ニ於テ辯明ヲシテ居ル、農商務省ノ總務長官モ亦貴族院ニ於テ確ニサウ云フコトヲ辯明シテ、是ハ態々委員會ノ席ニ招キ出シテ之ヲ確カメナケレバナラナイ、若シ枝光デ左様ナ經畫ガアレバ、ソレニナルコトデアルカラ能ク確メテ置カウト云フノデ態々呼ンダノデ、其時ニ詳ニ答ヘタ、是ハ筆記ニモ見エテ居リマス、確ニ私ドモ聞イテ居ル、斯様ナ經畫ハシテ居ラナリマス、全ク別途ノコトデアルト云フコトヲ辯明シタノデアル、ソレデ此枝光ハ併シ兵器ト云フノハ廣イ名デアッテ軍艦等ニ用キル兵器モ矢張此内ニ含ンデ特種ノ兵器ヲ造ラセルト云フコトハ最早調査ノ何ノト云フ餘地ハナイノデアモ、如何セン特種ノ新式ノ鋼鐵ト云フモノハ、ドウシテモ吳デナクテハ出來ナイト云フコトハ信ジテ疑ハナイノデアル、右ノ如ク調査ヲ要スルト云フコトハ最早餘地モナクナッテ、唯政府ノ仕事ト云フモノハ時トシテ初ハ誠ニ小

サイ經畫ヲ立テルケンドモ、段々ニ増シテ來テ餘程ニ金ヲ費ス癡ガアル、是ハ宜シクナイト斯ウ云フ說デアル、ソレハ此節ノ如キモ亦サウ云フ手段デ、ナルデアラウ、是ハサウ云フコトモアリマセウ、我モ贊成者ノ考デハ今ノ通ノ經畫デ足リナケレバ是カラ三十八年マデノ經畫デアリマスカラ三十九年四十年ニナッテ愈々此新事業ガ進ンデ來テ、大砲モ軍艦モ裝甲板モ美事ニ能ク出来ル、サウシテ我邦ノ用ハ是デ足ル、足ルドコロデナイ、餘リアルト云フ日ニハ他國ニ賣ッテモ宜シイ、他國カラ注文ヲスルカモ知レヌ、其位ニナラセタイ、サウ云フ希望ヲ満腹持ッテ居ル、ソレデ今ノ反對者ノ論トハ裏表ニナッテ居ル、凡ソ色々反對ノ說ガ出マシタケレドモ、今曾我子爵ノ述ベラレタ四箇條ト、是カラ官業ニスルコトハ今ノヤウナ弊モアルト云フヤウナコト、今年一年ヲ延シテ篤ト調査ノ上ニ來年度カラスルガ宜カラウ、是レ位ノコトデアル、篤ト調査ヲスルト云フコトハ何ヲ調査スルカト云フト、之ヲ調査セヌケレバナラスト云フコトハ一モナイ、此外ニハマダ有ルカモ知レヌケレドモ、ソレハ聞キマセヌ、ソレカラ段々斯ウシテ進行シテ行キ居ルト餘程ノ金額ニナッテ仕舞フト云フ御懸念デアリマシタ、是ハ本員等モ保證ハ出來マセヌ、出來マセヌケレドモ希望ハ今申ス如ク、マダモ大キウシタイト云フ考デアリマス、大キウスレバ金ガイル、金ガイル日ニナレバ餘程仕事ハ熟練シテ來テ、外國ヘ船モ注文セヌヤウニナルト思フ、サウ云フトキハ先刻申上ゲタ鐵ノ價カラ考ヘテ見マスト廉價ニ付クニ相達ナイ、是非無クテナラナイ武器ヲ造レバ必ズ財ヲ海外ヘ散ゼンケレバナラヌ、ソレヲ日本ニ落スヤウナコトニナレバ此上モノハ委シク申上ゲタイト存ジテ通告モシテ置キマシタガ、朝來、海軍大臣ガ熱イ結構ナコト、思フテ居リマス、大抵之ヲ今日ニ決セズシテスルト云フコトハ右申上ゲタ外ニハナインデアリマス、本員等ノ之ヲ贊成スル理由ト云フモノハ委シク申上ゲタイト存ジテ通告モシテ置キマシタガ、朝來、海軍大臣ガ熱心ニ詳細ナル說ヲ述べラレマンタカラ、モウ此上贊成員等ノ申ス所ハ盡キタナド、申スト又叱ラレマスケレドモ、之ヲ言ハ子バナラヌ、今ノ形勢ハドウデハ財政上ノ議論ガ段々ゴザイマシタケレトモ、是ハドウゾ諸君モ能ク御考へ下サレテ國家ノ大事業デアルト云フコトヲ一つ御考へ下サレテ、東洋ノ形勢リト存ジマスカラ別ニ申上ゲマセヌ、誠ニ是ハ贊成員等我輩ノ考ヘマス所デアルカト云フト、モウ誠ニ危急ナル切迫ナル東洋ノ形勢デアルト云フコトハ是ハ言ハザルヲ得ヌ諸君亦大キニソレヲ憂ヘテ御イデナサルダラウト思フ、其憂フル所ハ贊成者モ反對者モソレハ同ジコトデアラウト思ヒマスカラ別ニ

牒々ハ申シマセヌガ、本員ハ熱心ニ是ハ此業ヲ日本ニ於テ創業シタイト云フコトハ豫テ思フテ居リマシタ、所ガ未ダソレヲ實驗シタコトガナイ、昨年ノ秋……長タラシクハ申上ゲマセヌガ、昨年ノ秋、吳ニ參ッテ、ドウ云フ有様ニ製造スルモノデアラウカ、特殊ノ鋼鐵ガ出來侍ルト言フコトヲ聞キマシテ、其出來タ品物ヲ見タイト云フ念慮ヲ久シク持ツテ居リマシタカラ態ミ參テ見マシタ、所ガ素人デゴザイマスカラ聞キマシタケレドモ一向分リモシマセヌガ、美事ナモノガ出來テ居リマシタ、彈丸ナドモ是レナラバ先づ追ト是以テ是非トモ造ラナケレバナラヌト云フ品ガ兵器ニハ幾ラモアル、ソレカラ試験モ良シ、大砲ナドモ十分美事ナモノガ列ベテアル、今ニシテハ軍艦ニ不足ヲ生ジタトキハ之ヲ以テ補フト云フタケノ力ハ追ト附イテ來ル、頗ル安心ヲ致シタヤウナコト、大砲ガ一挺損ジタナラバ直グ歐羅巴ニ注文シナケレバ一挺モ出來ナイト云フコトデハ誠ニ遺憾千萬デ、是バカリハ數年頭ヲ病マシタコトデアリマス、吳ニ參ッテ見タ所ガ殆ド此憂ハ解ケタト云フテ安心シタヤウナ譯デアリマシタ、水雷艇ナドモ矢張本邦ニ於テ是モ十分ニ出來タノガ備ヘテアル、數十ヲ以テ數ヘルダケノ水雷艇ガ追ト出來ルト云フコトデアル、是モ海外ニ注文セヌケレバナラヌト云フノガ、日本デ是モ「バテント」ヲ買ハズニ出來テ居ル、ドウ云フ譯デ斯ウ云フ海外デ祕密ニシテ居ルモノヲ造リ得タカト云フト、ソレハ私ガ聞イタコトモゴザイマスケレドモ、此公然ノ場所デ申スペキコトデナイ、餘程祕密ヲ奪ウテ造ッタト云フコトデアル、是レ程マニ日本ノ技術ガ進ムト云フコトハ真ニ満足ニ考ヘマシテ、然ラバ此原料ハドウデアルカト云フト、是モ純良ナルモノガ本邦ノ中デ出來ルト云フコトデアリマス、今ノ海軍デ今ノ吳ノ製鋼所デ……造兵廠デ造ルダケノ原料ハ十分ニアル、二千噸グラキノ原料ガ出來ル、其原料タルヤ誠ニ純良ナモノデアルト云フコトヲ聞イテ、是亦大キニ安心致シマシタ、是モ此造兵廠ヲ擴張サレタトキハ陸續トシテ其需ニ應シテ五千噸モ六千噸モ矢張出ルト云フ經畫ニナツテ居ルサウデアリマス、其邊ハ諸君ト共ニ喜ブベキコトデアラウト思フ、斯ウ云フ次第デ我ヨハ贊成ヲシタ、成ル程「バテント」モ買ハズニ、日本デ之ヲ造ルト云フコトハ甚ダ不安心ナモノデアル、危險ナモノデアルト云フ御懸念ハ御尤ナコトデ、初ハ本員等モサウ考ヘテ居リマシタケレドモ、能ク承テ見マスルトサウデナイ、ソレデ其危險ナルコトハセヌガ宜シトイ云フコトヲ憂ヘラル、如クニ我ヨモ之ヲ何時マデモ海外ニ此國ヲ防ギ、國ト争フ所ノ必要

○議長(公爵近衛篤麿君) 松岡君ハ何デスカ

○松岡康毅君 私ハチヨット議長ニ伺フノデアリマスガ、此原案復活ノ唯今ノ演説ガゴザイマシタガ、是ハ十人トカ若クハ二十人トカ贊成ガ要ルヤウナ譯デアリマスカ、左モナクテモ宜シイノデアリマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 原案復活ト云フノハドウ云フ意味 デアリマスカ、アナタノ仰シャルノハ……

○松岡康毅君 唯今本田君ノ述ベラレマシタ細字ニ書イテゴザイマス所ノ復活ノ論デス

○子爵堀田正養君 私ハ反対ノ理由ヲ述べタウゴザイマス
○議長(公爵近衛篤麿君) 宜シウイゴザマス

〔子爵堀田正養君演壇ニ登ル〕

○子爵堀田正養君 諸君、本員ハ吳造兵廠ノ擴張費ニ附イテ反対ノ意見ヲ持ツテ居リマスルデ簡單ニ反対ノ意見ヲ述べルノデアリマス、諸君ガ色々賛成ノ御説モアリマシタガ、決シテ御賛成ノ御説ヲ駁撃スル譯デハナイ、本員ハ兵廠ノ擴張ト云フモノハ最モ必要デ、國家ニ對スル最モ重大ノ事件ト本員モ考ヘテ居ル、諸君モ定メテ左様ナ御考ヘデアラウト思フ、尤モソレガタメニハ餘程鄭重ニ之ヲ調査シナケレバナラスト云フ本員等ハ考ヲ持ツテ居ル、ソレデ一朝誤ツテ斯ノ如キコトニ著手シタ以上ハ將來餘程國家ノ損ヲ來スト云フコトハ諸君ト我より御同感デアラウト思ヒマス、カルガ故ニ之ヲ本員等ハ尙ホ一箇年延期シテ貰ヒタイト云フノデアリマス、ソレデ其延期ト云フモノハドウ云フ譯デアルト云フト、此事ニ附イテハ元ト農商務省ノ管轄ニナッテ居ル製鐵所ト云フモノハ軍器ノ獨立ト云フコトデ、我よりモ其當時ノ政府カラシテ頻ニサウ云フ説デ演説モアリマシテ、我よりモ軍器ノ獨立ト云フコトニ賛成ヲシタノデアル、ソレデ既ニ今日マテ經過シタノデアリマスケレドモ、マダ此製鐵所ノ如キハ易キヨリ難キニ及ボスト云フコトニシテ未ダ鋼鐵板ヲ製造スルト云フ所マデニハ著手ニナッテ居リマセヌ、ケレドモ是ハ果シテ製鐵所ト云フモノハ斯ノ如キ鋼鐵板ヲ掩ヘサセナイモノデアルヤ或ハ掩ヘサセルガ宜シイカト云フコトニ附イテハ十分ニ我よりハ研究致シタイト考ヘテ居リマス、詰リ國家ニハ成ルベクサウ云フ鋼鐵板ノ如キモノヲ我國家デ何レナリトモ掩ヘテ軍器ノ獨立ニサヘナリ得レバ少モ差支ナイコト、考ヘル、カルガ故ニ我より此製鐵所ニハ軍器ノ獨立ト云フコトニ附イテ協賛ヲ與ヘテ金額モ非常ニ支出シタト云フ今日ニナツテ、最初ノ目的ヲ失フト云フコトニ付テ甚ダ遺憾ナコトニ思ヒマス、然レドモ實際調査ノ結果、出來得ナイト云フコトニナッタナラバ是レ亦已ムヲ得マセヌ、ソレカラ又海軍ノ方ノ造兵廠デハ出來得ルト云フコトハ當局者ハ言ハレマスケレドモ、是ハ當局者ヲ信用スレバ又サウカモ知レマセヌ、然レドモ當局者ノ言フコトニ附イテモ果シテ其通デアルカ、海軍當局者ノ言ハレル通ニ出來得ルヤ否ヤト云フコトニ附イテハ我よりハ十分ニ調查スルコトガ必要デアルト思ヒマス、カルガ故ニ本年ダケハ之ヲ延期シタイ、延期ノ理由ヲ以テ否決スル、ソレデアッタ場合ニハデス、ソレデハドウシ

テモ海軍ノ請求サレタ通三十八年ニハ出來得ナイカト言ヘバ出來得ルト云フルダラウ、或ハ今日ノ財源デモ剩餘金ガ出來ルト云フ時モアルダラウ、其場合ニ剩餘金ガ出來レバ尙ホ結構、或ハ此事ニ至ツテ調査ノ結果必要ト見タナラバ増稅モサレル、サウ云フ時機ニ至ツタラバ或ハ是ガ何レニ於テ製造スルガ可ナリト極ツタキニハ、詰リ協賛スル所ノ金額サヘ増セバ矢張リ三十年ニハ出來ル、來年即チ協賛ヲ與ヘテモ出來ルト云フコトハ確デアル、如何トナレバ政府ハ元ト是ハ四箇年ノ要求ヲ海軍ハサレタケレドモ併シ金額ノ都合ニ依ツテ五箇年ノ繼續費ニナッタ云フコトヲ明言サレタ、シテ見レバ本年ノ所ハ我よりニ安心ノタメ十分ノ調査ノ時間ヲ與ヘラレテ、ドウズシテ來年ニ至ツテ或ハ農商務省ノ管轄ナリ海軍ノ管轄ナリデ著手スルコトニナッテモ四箇年アリマスレバ出來ル、即チ三十八年ニハ政府ノ望ノ通リノ仕事ハ出來得ルト云フコトハ明デアラウト思フ、故ニ本員等ハ本年ノ所ハ我よりニ調査ノ時間ヲ與ヘラレテ、成ルベク十分ナ茲ニ調査ヲシテ誤ラシメナイ、國家ノタメニ誤ラシメナイト云フ猶豫ヲ與ヘラレンコトヲ望ンデ、本年ハ之ヲ否決スルト云フ理由ナンデゴザイマス、決シテ此獨立ガ惡ルイ、軍器ノ獨立ガ惡ルイト云フノデハナイ、軍器ノ獨立ト云フコトハ我よりガ二十五年頃ニ建議ヲシタ、デ決シテ惡ルイト云フノデハナイ、然レドモ之ニ著手スルト云フニ附イテハ一步誤ルト非常ナ國家ノ不利益ニナルニ依ツテ一箇年ダケ猶豫ヲ請ヒタイト云フ理由ヲ以テ否決シマスノデゴザイマスカラ、簡単ニ其否決ノ理由ダケ申述ベマシタ

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 本員ハ此吳造兵廠擴張費ヲ復活スルト云フ意見ヲ持ツテ居ル者デアリマス、本員ガ述ベタイト思ウテ居リマシタコトハ前賛成者ヨリ大抵述べラレマシタニ依ツテ誠ニ簡單ニ本員ノ考ヲ申述ベテ置キマス、此吳製鐵所費ヲ委員會ニ於テ否決サレマシタ理由ハ未ダ調査ノ足ラナイ所ガアルカラ、ソレヲ調査スルノ必要ガアルト云フノ理由ヲ以テ否決サレタノデアリマス、ソレハ何デアルカト云フト「バランント」ヲ買ハズニヤツテ差支ハナイカ、其他一二箇條デアリマスガ、ソレハ昨日委員會ニ於キマシテ政府委員ノ詳細ナル辯明ヲ聞キマシテ本員共ハ少モ差支ナイコト、信ズルノデアリマス、ソ

レカラ之ヲ吳デ造ルカ若松デ造ルカ何レデ造ッタ方ガ利益デアルカト云フコトガ、モウ一ツ調査ノ必要ガアルト云ハレル一點デアル、成ル程若松製鐵所ハ元ト軍器ノ獨立ガ國家ニ必要デアルト云フ所カラ若松製鐵所ヲ創立サレタノデアル、本日既ニ二千萬近クノ金ヲ使ツテ居リマス、サウシテ今日何ヲシテ居ルカト云フト漸ク一二箇月前ニ釜ニ火ヲ入レタ位デアル、是モ今日ノ設備考モ爲シテ居ラヨト云ヒマシテモ宜シイノデアリマス、是ハ政府委員ガ農商務省ノ政府委員ガ證明シテ居ル、前ニアレヲ企テラレタ時分ニハ大砲ハ出來ルト云フ考ガアツタ、併ナガラ即チ軍器防禦用ノ鋼鐵板ヲ造ルト云フ考ハ初カラ無カツタ、加之前年貴衆兩院ノ協贊ヲ經テ軍器ハ吳デ造ルト云フコトニ協贊ヲ經テ既ニソレニ著手ラシテ非常ニ進歩ラシテ今日ハ立派ナ大砲ヲ造リ、又殊ニ製造ニムヅカシイ「ニッケルクロームスチール」ナドモ出來、即チ彈丸モ出來ルノデアル、サウシテ見レバ若松ノ方ハ初メ軍器ヲ造ルト云フノガ目的デ、軍器ノ獨立ト云フノガ目的デ起サレタノデアルケレドモ、中途デ政府モ亦貴衆兩院モ軍器ハ吳デ造ルト云フ意思ハ吳造兵廠ノ費用ヲ支出サレルコトヲ協贊サレタノデ分ツテ居ル、サウ云フ有様デ今日ニナツテ來タ、茲デ吳ハ既ニ大砲モ八時マデハ出來、玉ハ十二時マデ出來ル、即チ日本ノ海軍ニ於テ最モ大ナル大砲ハ未ダ出來ナイカモ知レナイガ、是モ追ト出來テ來ル、サウスルト大砲ノ方、彈丸ノ方ハ我海軍デ使フノニ差支ナイモノダケガ出来ル、唯此大砲及小ナサ速射砲等ヲ使用スルニ最モ必要ナル楯ガ要ルノデアル、今日速射砲機關砲ノ世ノ中デ、戰サラスルニ此楯ガ無クテハ砲員ガ直グ擊殺サレル、ソレガ爲ニ甚ダ不利益デアル、現ニ黃海ノ戰爭ノ時ノ有様ヲ一見シテモ分リマスガ、大砲ガ大事デアルカ、楯ガ大事デアルカ、其場合ニアツテハ大砲ヲ使用スル人間ガ最モ大事デアル、如何ナル良イ大砲デモ之ヲ使用スル人間ガナケレバ仕方ガナイノデアル、故ニ此楯ト云フモノハ彈丸ト又大砲ト比較シテ何レガ最モ必要デアルカト云フト殆ド甲乙ノ無イモノデアル、其ニダケハ即チ大砲彈丸ダケハ既ニ出來ル、其楯ガ未ダ出來ナイ、ソレヲ一度造ラウト云フノハ尤ノ主意デ、段々擴張シテ之ヲ造ルト云フ考デアルダラウト思ヒマス、又大砲ノ楯ノミナラズ即チ軍艦ニハ號令臺ト云フモノガアル、ハ總テ人間デ云ヘバ我ミノ腦髓ト同様ノ場所ガアル、是モ斯ウ云フ鐵板ヲ以

テ保護セヌケレバナラヌノデアル、ソレデ斯様ナ必要ナモノヲ此處デ造ラウト云フノデアル、ソレヲ造ルニ附イテ出來ル出來ナイト云フ議論ハ我輩ハモウ政府ノ説明ヲ聞キ、又自分ガ現ニ見テ承知シテ居ルガ、決シテ是ハ出來ナイト云フコトハ見ナイ、必ズ出來ルト云フコトハ疑ナイノデアル、唯此板ヲ造ルニ附イテ其道具ガ要ル、即チ壓榨器トカ或ハ「ロール」トカ云フモノガイル、即チ又板ヲ造ル諸器具ガ要ルノデアル、サウ云フモノニ重モニ使フノガ今度要求サレタ費額デアルデアラウト思ヒマス、ソレデ是ハドウシテモ此處デ「パテント」ヲ買ハナケレバ如何デアルトカ、或ハ出來ルカ出來ナイカト云フニ付テハモウ決シテ疑ヲ置カズ、決シテ調査ノ必要ハ無イト思ヒマス、ソレカラ場所ニ附キマシテハ若松ノ方ハ最初目的ハ軍器ヲ造ルト云フ目的デ先刻申シマシタ通、アソコニ据エマシタノデアルケレドモ、アソコハ今日二千万圓近クモ使ツテ工業材料ヲ造ルト云フ點マデニシカ進ンデ居ラヌ、是ハ誠ニ幸デアルト我輩ハ考ヘル、既ニ先刻モ申シマス通諸君ハ協賛ヲ與ヘラレテ吳テ軍器ヲ作ルコトニナツテ吳デソレヲヤッテ居ル、若松ノ方デハマダソコニ至ラズシテ工業用ノ材料ノ設備シカシテ居ラヌ、是ハ誠ニ國家ノ幸デアルト思フ、何故カナラバ既ニ二千万圓モ使ツテ、マダソレダケノ金デハ今日日本ニ於テ使用スル所ノ工業材料ノ鐵材ハ、アレダケノ設備デハ國家ノ需要ヲ充スコトニハ足ラヌト思フ、年々鐵材ノ這入ツテ來ルノハ十萬噸以上アツテ鐵デ造タ船ガ這入ツテ來ルノハ何萬噸アルカ分ラヌト思フ、決シテ今ノ設備デ我輩ノ考デハ倍ニシテモ足ラヌト思フ、デアルカラ若松ノ方ハ工業材料ニ向ケテ段々研究シ擴張シタガ宜シイ、海軍ノ軍器樁ハ吳デヤッタガ宜イ、斯ウ云フ考デアリマス、加之尙ホ若松デ軍器ヲ造ルト云フニ附キマシテハ尙ホ不利益ナ點ガアル、何デアルカト申シマスレバ枝光ノ工場ノゴザイマス所ハ海岸ヲ去ルコト僅カ七千「メートル」以内デアル、ソコヘ七千「メートル」ノ所マデハ一等巡航艦即チ一萬噸以上ノ軍艦ヲ持ツテ來ルコトガ出來ルノデアル、其軍艦ニ積ンデ居ル大砲ノ彈ハドコマデ行クカト云フト、一萬「メートル」以上行クノデアリマス、然ラバ敵ノ船ハ七千「メートル」以内ノ所ニ來テ一萬「メートル」行ク鐵砲ヲ以テ枝光ヲ擊ツコトガ出來ル、サウ云フ敵ノ船ガ來テ彈ヲ擊込ムヤウナ場所ニアル工場ニ於テ、他デ決シテ容易ニ出來ナイ「クロームスチール」トカ何トカ云フヤウナ特種ナ物ヲ作ル場所ヲサウ云フ危險ナ所ニ置クノハ最モ不利益デハアリマセヌカ、加之吳ハドウカト云フト佐賀ノ關、紀淡海峽、藝豫海峽等、常ニ通ルニモ困難ナ場所ガ多イ、又軍港附近ニ於テハ特ニ防

禦ガアルニ違ヒナイカラ是ヨリ安全ナ所ハナイ、ドウカ今日枝光デ軍器ガ出来ルト云フテモ決シテアスコデ造ルノヲ許スノハ國家ノ不利益デアリマス、故ニドコデ造ルカト云フコトハモウ調ベルニモ及バズ、ソレカラ「バテント」ヲ買フトカ製造ガ出來ルカ出來ヌカト云フコトモ、少モ疑ナイト存ジマスニ依ツテ、調査ノ必要ハナイノデアリマス、然ル上ハドウカ諸君モ直ニ此製鋼所ノ費用ヲ復活スルコトニ御賛成アランコトヲ希望シマス

○南郷茂光君 討論終局ノ動議ヲ提出致シマス

○子爵谷干城君 賛成

〔其他賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 討論終局ノ動議ガアッテ十名以上ノ賛成ガアッタと思ヒマス、討論終局ト認メテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ハ無記名投票ヲ以テ採決サレンコトヲ希望スルト云フ要求ガ出テ居リマスカラ……

○男爵伊達宗敦君 記名デゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 無記名デス、ソレデハ無記名投票ヲ行ヒマス、此採決ノ前ニヨット御注意致シマス、委員會ノ修正ニ賛成ノ諸君ハ白イ球、反對ノ諸君ハ黒イ球ヲ御入レニナルヤウニ致シタイ

○男爵本田親雄君 政府ノ原案ニ戻スト云フノハドチラデスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 政府案ニ復活シヤウト云フ考ノ諸君ハ黒イ球ニ……

○男爵末松謙澄君 チヨット伺ヒマス、唯今ハ製鋼所ダケガ一ノ問題ニナッテ居リマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) サウデス

○男爵末松謙澄君 サウスレバ委員會デハ否決デアレバ矢張原案デ決ヲ御採リニナルノデアリマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 委員會ハ修正ニナッテ居リマス

○男爵末松謙澄君 修正ニナッテモ一ツ別ニ問題ニナッテ居ル以上ハ……

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ誤解ノナイヤウニモウ一遍申シテ置キマス、政府カラ要求シタ金額ガ總體デ百六十一萬三千八百十五圓六十九錢三厘、ソレヲ製鋼所ノ三十四年度ノ分ダケヲ除キマシタ五十三萬千六百六十二圓五十三錢。是ダケハ委員會デ殘スノデアリマス、百六十一萬三千八百幾ラノ中

カラ五十三萬幾ラヲ引タモノヲ削ラウト云フ修正デアリマス

○三浦安君 修正案ハ白票、政府案ハ黒イ球デアリマス子

○議長(公爵近衛篤麿君) サウデス

○男爵尾崎三良君 チヨット伺ヒマス、豫算委員ノ說ニ賛成ノ者ハ白イ球ヲ入レル政府ノ原案ニ復活シヤウト云フモノハ黒イ球ヲ入レルト云フノデスナ

○議長(公爵近衛篤麿君) サウデス、ソレデハ是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマスカラ名刺ヲ御忘ナイヤウニ願ヒマス

〔無記名投票執行〕

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ開函シマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 投票ノ結果ヲ報道シマス、出席總數二百三十九人、委員會ノ修正ヲ可トスル者即チ白球ヲ入レタ者百二十七人、委員會ノ修正ニ反対ノ者即チ黒球ヲ入レタ者ガ百十二人、即チ委員會ノ修正通決シマシタ

○子爵芳川顯正君 是ヨリ請願委員會ヲ開キマスガ、許可ヲ請求シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 宜シウゴザイマス……其他ハ委員會ノ修正通デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵谷干城君 モウ一切濟ミマシタノデス子

○議長(公爵近衛篤麿君) マダアリマス、ソレカラ乙號全部ヲ問題ニ供シマス、委員會ノ修正ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレカラ跡ヘ戻リマシテ歲入經常部及臨時部、是モ委員會ノ修正ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 前ノ「豫算」ト云フ所、是モ御異議ガナクバ修正ノ通決シマス、ソンカラ特別會計歲入歲出豫算

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正通ニ決シマス、次ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月十九日

豫算委員長 子爵 谷 干城

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○子爵谷干城君 此際ニ於キマシテ議事日程ヲ變更セラレテ一昨十八日配付ニナリマシタ第二號追加豫算、明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案、ソレカラ特追第二號、明治三十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案、是ハ先刻報告致シテ置キマシタガ、續テ議了セラレンコトヲ希望致シマス

〔「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 谷子爵ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ、……ソレデハ之ヲ議事ニ付シマス

○子爵谷干城君 簡短デゴザイマスカラ此席ヨリ報告ヲ致シマス、此豫算案ニ於キマシテハ政府案ノ通即チ衆議院送付ノ通修正ナシニ委員會ニ於テ可決致シマシタ、諸君ノ御賛成ヲ希望致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、巡查看守退隱料及遺族扶助料法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、朗讀ハ略シマス

〔「左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

巡查看守退隱料及遺族扶助料法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十四年三月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

巡查看守退隱料及遺族扶助料法
第一條 巡查又ハ看守勤續十年以上ニシテ左ノ各號ノ一二當ルトキハ退隱料ヲ給ス

貴族院議事速記録第十五號

明治三十四年三月二十日

豫算追加案 會議

巡查看守退隱料及遺族扶助料法案 第一讀會

一 年齢五十歳ヲ超ヘ退職シタルトキ

二 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘス退職シタルトキ

三 廢官廢廳ニ依リ退職シタルトキ

四 身體若ハ精神ノ衰弱又ハ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタルトキ

前項ノ退隱料年額ハ退職當時ニ於ケル月俸三箇月分トシ勤續十年以上三十年ニ至ル迄一年ヲ加フル毎ニ退職當時ノ月俸額十分ノ一ヲ增加ス

第二條 巡查又ハ看守勤續一年以上十年未滿ニシテ第一條第一項各號ノ一二當ルトキハ一時金ヲ給ス但シ退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者ハ此ノ限ニ在ラス

一時金ハ退職當時ニ於ケル月俸額ノ三分ノ二ニ勤續年數ヲ乘シタル額トス
第三條 退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者再ヒ前職ニ就キ勤續一年以上ニシテ第一條第一項各號ノ一二當ルトキハ前後通算シテ勤續三十年ニ至ル迄後ノ勤續一年ヲ加フル毎ニ後ノ退職當時ニ於ケル月俸額十分ノ一ヲ退隱料年額ニ增加ス

一時金ヲ受クタル者又ハ受クヘキ者再ヒ前職ニ就キ第一條第一項各號ノ一二當ルトキハ前後通算シテ勤續十年以上ニ至ル者ニハ第一條ニ依リ退隱料ヲ給シ十年未滿ノ者ニハ第二條ニ依リ後ノ勤續年數ニ對スル一時金ヲ給ス

第四條 巡查又ハ看守職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ又ハ之ニ準スヘキ者ト爲リ其ノ職ニ堪ヘス退職シタルトキハ退隱料ヲ給ス

前項ノ退隱料年額ハ退職當時ノ月俸三箇月分乃至六箇月分トス

第一條及第二條ニ依リ退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者本條第一項ニ當ルトキハ其ノ退隱料年額ニ退職當時ノ月俸四箇月分以内ヲ增加ス

第五條 前條ノ規定ハ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退職シタル後一年以内ニ其ノ傷痍疾病ニ起因シ前條第一項ニ當ルニ至リタル者ニ之ヲ準用ス

第六條 巡查又ハ看守交亘ニ轉職シ又ハ他ノ官職ニ轉シタルトキハ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタル者ト看做ス

第七條 巡查又ハ看守左ノ各號ノ一二當ルトキハ遺族ニ扶助料ヲ給ス

一 職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ在職中死亡シタルトキ
二 勤續十年以上ニシテ在職中死亡シタルトキ
三 退隱料ヲ受ケ又ハ受クヘクシテ死亡シタルトキ

扶助料年額ハ前項第一號ノ場合ニ在リテハ第四條ニ依リ查定シタル金額ノ三分ノ二トシ第二號ノ場合ニ在リテハ第一條又ハ第三條ニ依リ查定シタル金額ノ三分ノ一トス但シ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退職シタル後一年以内ニ其ノ傷痍疾病ニ起因シテ死亡シタルトキハ第四條第五條ニ依リ查定シタル金額ノ三分ノ二トス

第八條 扶助料ハ寡婦ニ給ス寡婦死亡シ又ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ子ニ給ス

數子間ニ在リテハ法定家督相續ノ順位ニ依リ最先者ニ給メ最先者死亡シ若ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ順次次位者ニ轉給ス
民法第九百六十九條ニ依リ家督相續人タルコトヲ得サル者及推定家督相續人ニシテ廢除セラレタル者ニハ扶助料ヲ給セス但シ疾病其ノ他身體又ハ精神ノ状況ニ依リ家政ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲廢除セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス
養子ハ家督相續人ニ非サレハ扶助料ヲ給セス

第九條 扶助料ヲ受クヘキ寡婦及子ナキトキハ扶助料ハ直系尊屬ニ給ス
前項ノ場合ニ在リテハ先ツ父ニ給シ父死亡シ又ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ母ニ給ス母ヨリ祖父ニ祖父ヨリ祖母ニ轉給スルハ順次此ノ例ニ依ル

第十條 扶助料ヲ受クル者ナクシテ死亡シタル者ノ家ニ在ル兄弟姉妹二十歳未滿又ハ篤疾若ハ廢疾ニシテ自活スルコト能ハサルトキハ扶助料ニ相當スル金額ノ三箇年分以内ヲ一時限リ給スルコトアルヘシ
第十一條 退隱料ヲ受ケタル者又ハ受クヘキ者左ノ各號ノ一二當ルトキハ之ヲ給セス

一 國籍ヲ喪失シタルトキ
二 重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

三 在職中ノ犯罪ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
第十二條 遺族ニシテ左ノ各號ノ一二當ルトキハ扶助料ヲ給セス

一 前條第一號又ハ第二號ニ當ルトキ

二 寡婦婚姻シタルトキ
三 子年齢二十歳ニ満チタルトキ
四 尊屬ノ女婚姻シタルトキ

第十三條 子二十歳ニ満ルモ篤疾又ハ廢疾ニシテ自活スルコト能ハス他ニ扶助料ヲ受クル者ナキトキハ其ノ事由ノ存續スル間扶助料ノ三分ノ一ヲ給スルコトアルヘシ
第十四條 退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者左ノ各號ノ一二當ルトキハ其ノ間退隱料ノ支給ヲ停止ス

一 公權ヲ停止セラレタルトキ
二 六箇月以上行方不明ナルトキ

退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者再ヒ判任官待遇以上ノ官職ニ就キタル場合ニ於テハ其ノ俸給月額ニ退隱料月割額ヲ合シ退職當時ニ於ケル俸給月額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ニ對スル退隱料ノ支給ヲ停止ス

第十五條 扶助料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者前條第一項各號ノ一二當ルトキハ其ノ間扶助料ノ支給ヲ停止シ第八條第九條ノ順位ニ依リ之ヲ次位者ニ轉給ス

第十六條 退隱料及扶助料ノ年額並一時金ノ圓位未滿ハ圓位ニ満タシム

第十七條 巡査又ハ看守ノ勤續年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終ル但シ十二箇月未滿ノ端數ハ之ヲ算入セス
休職及教習中ノ月數ハ勤續年數ニ算入ス

第十八條 巡査又ハ看守其ノ職務ヲ以テ從軍シタルトキハ軍人恩給法ノ算則ニ照ラシテ從軍年ヲ加算ス

第十九條 本法ニ於テ寡婦、子、尊屬ト稱スルハ巡査又ハ看守タリシ者死亡ノ當時ヨリ引續キ其ノ家ニ在ル者ヲ謂フ但シ父死亡後出生シタル嫡出ノ

子ハ死亡當時其ノ家ニ在ル者ト看做ス
第二十條 退隱料及扶助料ノ支給、停止及廢止ハ其ノ事由ノ生シタル翌月ヨリ之ヲ行フ

第五條ニ依ル退隱料ノ支給ハ事由認定ノ翌月ヨリ始マリ前條但書ニ依ル扶助料ノ支給ハ出生ノ翌月ヨリ始マル
リ三年以内ニ請求スルニ非サレハ之ヲ給セス

第二十二條 退隱料ハ民事訴訟法第五百七十條及第六百十八條ノ規定ニ關

シテハ恩給ト看做ス

第二十三條 本法ニ依ル給與金ノ支給ニ關スル事項ヲ裁定スヘキ行政官廳

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 本法ニ依ル給與金ハ巡査又ハ看守最後ノ退職又ハ死亡當時ニ
於テ俸給ヲ受ケタル經濟ノ負擔トス

第二十五條 本法ニ依ル給與金ノ一部又ハ全部ヲ拒否セラレタル者其ノ拒
否ヲ不當ナリトスルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニシテ權利ヲ傷
害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十六條 本法ハ陸軍監獄看守、海軍監獄看守、海軍警査、貴族院守衛、
衆議院守衛及其ノ遺族ニ之ヲ適用ス

附 則

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 明治十五年太政官達第四十一號巡査看守給助例ハ巡査、看守、
陸軍監獄看守、海軍監獄看守、海軍警査、貴族院守衛、衆議院守衛及其ノ遺
族ニ之ヲ適用セス但シ巡査看守給助例ニ依リ現ニ給助ヲ受クル者又ハ既
ニ受クヘキ事由ヲ生シタル者又ハ其ノ事由ニ起因シテ一年以内ニ重症ニ
趨キ又ハ死亡シタル者ニ對シテハ其ノ第一條乃至第七條ヲ適用スルノ外

本法第三條、第十一條、第十二條、第十四條、第十五條、第二十條第一項、第
二十一條、第二十三條及第二十五條ヲ準用ス

明治十五年太政官達第六十六號ハ巡査、看守ニ明治三十三年法律第三十
號ハ巡査、看守、陸軍監獄看守、海軍警査、貴族院守衛、衆議
院守衛及其ノ遺族ニ之ヲ適用セス

〔政府委員大森鍾一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大森鍾一君) チヨット簡單ニ此法律案ヲ提出シマシタ理由ヲ申
上ゲテ置キタイト思ヒマス、今日ノ巡査看守ノ給助法ハ大分舊ク制定ニナッ
テ居リマスル所ノ規則デアリマシテ、今日ヨリ見マスレバ餘程不完備ナ點モ
多々ござイマスルデ、例ヘバ巡査ノ俸給ノ如キ從前六圓以上十圓以下ト云フ
ガ如キ規則デアリマシタ當時ノ制定デアリマス、其時分ノ一定不動ノ恩給額
ニナツテ居リマス、然ルニ今日ハ巡査俸給ハ九圓以上十五圓以下ト云フガ如
キコトニ相成ツテ居リマス、從ツテ其恩給ト給料トガ餘程權衡ヲ失シテ居ルヤ
ウナ類ノ所モゴザイマス、又今日ハ警察事務、監獄事務ニ從事スル所ノ人ヲ
募集シマス上ニ於キマシテハ餘程困難ヲ感ジマスノデ、隨ツテ其ノ待遇ノ法ガ

十分今日ノ時勢ニ應ズルヤウニ相成リマセヌト、事務ヲ舉ゲル上ニ非常ナ困
難ヲ感ジマス、彼是本案ヲ必要ト致シマシタ所以デアリマス、尙ホ詳細ナコ
トハ委員會ニ於キマシテ辯明致シマス心得デゴザイマス、御賛成ヲ偏ニ請ヒ
マス

○議長(公爵近衛篤麿君) 特別委員ノ選舉ニ移リマス、此特別委員ハ議長指
名デ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 内務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修
築費繰越ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、朗讀ハ略シマ
ス

内務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律
案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十四年三月十九日

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

明治三十三年度迄ニ竣功スヘキ内務省所管信濃川河口修築ニ係ル繼續費ニ
シテ竣工遲延ノ爲同年度迄ニ支出ヲ終ラサル金額ハ明治三十五年度迄遞次
繰越使用スルコトヲ得

〔政府委員大森鍾一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大森鍾一君) 是モチヨット此法律ヲ出サヌケレバナラヌコトニ
相成リマシタ理由ヲ申上ダヤウト存ジマス、此信濃川ノ改築工事ハ元ト二十
九年ヨリ三十三年マデノ繼續事業デアリマシタ、其金額ハ百十九萬六千餘圓
ノ額ヲ以テ繼續費デ極ツテ居タノデアリマス、然ルニ此事業ニ掛リマシタ際、
恰モ二十八年ヨリ三十年ニ掛ケマシテ、此信濃川筋ニ於キマシテ非常ナ大洪
水ガアリマシタ、ソレガタメニ此工事ニ用キマス所ノ材料、其他ニ非常ナル
缺乏ヲ告ゲマシテ、遂ニ此工事ヲ豫定通執行スルコトガ出來ヌヤウナ場合ニ
相成リマシタ、ソレガタメニ二十九年三十年ノ兩年度ノ如キハ僅ニ低水工事
ノミヲ行フニ止メタヤウナ次第ゴザイマス、其突堤工事ノ如キニ至リマシ
テハ辛ウジテ三十一年ヨリ始テ著手スルト云フヤウナ餘儀ナイ場合ニ相成リ

マシタ、實ニ此突堤工事ノ如キハ、北海ニ面シテ居ルコトアリマシテ、平素非常ニ風波ノ狂暴ナル所デアリマスニ依ツテ猶更豫定通其事業ヲ終ヘルコトガ出來ヌデアリマシタ、已ムヲ得ズ三十三年度ニ成效致スコトガ出來ヌヤ

ウナ場合ニ相成リマシテ、遂ニ本案ノ如ク三十六年度マデ繰越ノ請求ヲ致サヌケレバナラスコトニナリマシタ、之ヲ會計法ニ照シテ見マスト、僅ニ一年度ヨツ繰越スト云フコトハ出來ヌコトニナッテ居リマス、ソレデ特ニ此法案ヲ提出致シマシテ三箇年間ノ繰越ヲ要求致サヌケレバナラスコトニナリマシタ、尙ホ詳細ナコトハ委員會デ申上グマス、是ハ速ニ御協賛ヲ希望致シマス次第デアリマス

○議長（公爵近衛篤麿君） 委員選舉ニ移リマス、此委員モ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 實業教育費國庫補助法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員（梅謙次郎君） 此法律案ハ一昨日委員長ノ報告ガアリマシタケレドモ、之ニ關スル豫算ヲ衆議院ニ提出致シタルコトニ附イテ本院ニ於テ種々御議論ガアリマシテ其結果、一昨日並ニ昨日ハ延會ト相成リマシタ譯デアリマスガ、實ハ法律案ガ出マシテ、其法律案通過ノ曉ニ其結果ト致シテ必要ナル所ノ費額ハ法律案通過ノ上デ豫算トシテ之ヲ提出致シマスルノガ無論普通ノ順序デアリマスノデ、政府ハ力テ斯ノ如キ手續ヲ執ツテ居リマスル、此度モ斯様ナル次第デアリマスカラ、實業教育費國庫補助法中改正法律案ハ議會開會早々ニ提出致シマシテ、成ルベク速ニ之ガ通過ヲ希望シテ居リマシタガ、不幸ニシテ今日マデ本院ニ於テ御議定ニ相成ラヌヤウナ次第デ、然ルニ會期ハ最早切迫致シマシテ、若シ此法律ヲシテ有效ナラシメント欲シマスレバ是非此會期中ニ豫算ヲ提出シナケレバナリマセヌガ、唯今本院ノ議事ニ上ボッテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、是ガ全ク通過致シマスルノヲ待ツテ、ソシカラ豫算ヲ提出致シマシテハ到底此年度ニ間ニ合ヒマセヌノデ、普通ノ順序デハアリマセヌデアリマシタガ豫算ヲ提出致シマシタガ、併シ衆議院ニ於テハ此法律案ガ本院ニ於テ通過セザルタメニ其議事ヲ延シテ此豫算ノ方ハ議

サナイデ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ其邊ヲ御酌量下サイマス、何ゼト申シマスルニ此二十五萬圓ト云フモノヲ以テ補助シテ居リマシタ所ガ今度ハ之ヲ年々豫算デ以テ極メテ、サウシテ補助シャウト云フノデゴザイマスガ、一體此豫算ト云フモノデゴザイマスルト年々出スモノデアリマス、然ル處國庫補助ナド、云フモノハ概子一定ノ金額ト年限ヲ定メテアル、既ニ文部省デモ其他ニモ補助ヲシタモノガアル、例ヘテ見マスレバ日本體育會ト云フヤウナモノニハ年々一萬圓宛五箇年間補助スルトカ其他補助ト云ヘ大概年限ト金額ガ定メテアル、然ル處年々豫算デ定メルト云フコトニ致シマスレバ當局者ニ依リマシテ或ハ減ラスコトモアリ或ハ殖ヤスコトモアルカモ知レマセヌガ、減ラサレルトキハ補助ヲサレルモノハ甚ダ迷惑デアル、ソレ故ニ國庫補助ト云フモノハ大概年限ガ定メテアル、尤モ一年此小學校教育費國庫補助ト云フモノハ是ハ豫算デ定メルト云フコトガゴザイマシタガ、是ハ餘程性質ノ違ツタモノデ小學校ト云フモノハ年々殖エテ參リマス、日本ノ人口ハ年々四十万以上モ殖エマスカラ、ドウシテモ學校ガ殖エテ參リマスカラ、是ハ一定ノ金額ヲ定メルコトハ出來マスマイケレドモ、實業教育ナドトノ御議論ガアリマシテ其結果、一昨日並ニ昨日ハ延會ト相成リマシタ譯デアリマスガ、實ハ法律案ガ出マシテ、其法律案通過ノ曉ニ其結果ト致シテ必要ナル所ノ費額ハ法律案通過ノ上デ豫算トシテ之ヲ提出致シマスルノガ無論普通ノ順序デアリマスノデ、政府ハ力テ斯ノ如キ手續ヲ執ツテ居リマスル、此度モ斯様ナル次第デアリマスカラ、實業教育費國庫補助法中改正法律案ハ議會開會早々ニ提出致シマシテ、成ルベク速ニ之ガ通過ヲ希望シテ居リマシタガ、不幸ニシテ今日マデ本院ニ於テ御議定ニ相成ラヌヤウナ次第デ、然ルニ會期ハ最早切迫致シマシテ、若シ此法律ヲシテ有效ナラシメント欲シマスレバ是非此會期中ニ豫算ヲ提出シナケレバナリマセヌガ、唯今本院ノ議事ニ上ボッテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、是ガ全ク通過致シマスルノヲ待ツテ、ソシカラ豫算ヲ提出致シマシテハ到底此年度ニ間ニ合ヒマセヌノデ、普通ノ順序デハアリマセヌデアリマシタガ豫算ヲ提出致シマシタガ、併シ衆議院ニ於テハ此法律案ガ本院ニ於テ通過セザルタメニ其議事ヲ延シテ此豫算ノ方ハ議

サナイデ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ其邊ヲ御酌量下サイマス、何ゼト申シマスルニ此二十五萬圓デ足リナケレバ三十万圓ヲ定メマシタンデゴザイマスガ、此三十一年ニ又十万圓殖エテ居リマス、初カラ殖エテ居リマスカラ明年ニナリシテハ……當議會ニ於キマシテハ否決シテ貰ヒタイ、ソレデ此後段々必要ト見タナラバ既ニ是ハ二十七年ニ十五万圓ヲ定メマシタンデゴザイマスガ、此ハシナイカト云フコトヲ本員ハ考ヘタ、ソレ故ニドウゾ此事ハ本會ニ於キマシテハ……當議會ニ於キマシテハ否決シテ貰ヒタイ、ソレデ此後段々必要ト見タナラバ既ニ是ハ二十七年ニ十五万圓ヲ定メマシタンデゴザイマスガ、此三十一年ニ又十万圓殖エテ居リマス、初カラ殖エテ居リマスカラ明年ニナリマシテ二十五萬圓デ足リナケレバ三十万圓ニシテモ三十五万圓ニデモスルガマシテ、年々豫算デ定メルト云フコトハ補助ノ性質ニモ如何デアラウト思ヒマスカラ、當會ニ於キマシテハ否決ガ宜カラウト思ヒマス、就イテハドウカニ讀

會ニ移サレザルヤウニ希望致シマス

○子爵長岡護美君 今村田君カラ御演説モアリマシタガ、我々委員ノ中デモラウト考ヘマシタノデアリマシタンデ、ソレデ十分ニ委員會デハ此事ヲ討議シテ譯デアリマスガ、何分今日ハ教育ノ事ハ或ル地方ニ於テハ必要デアラウト云フノデ、本員等ハ原案ヲ賛成シタ次第第デ、村田君ノ如ク法律的ノ御議論ハアラウト考ヘマシタノデアリマスケレドモ、奈何セン地方ノ情況今日ノ場合ニテハ先ヅ二万圓位ノ所時勢ニ應シテ補助ヲスルコトガ必要デアラウト、斯ウ云フコトニ委員ハ致シタ次第デアリマスカラ、其事ヲ一應述ベテ置キマス

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ本案ハ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
採リマス、本案ヲニ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 名數

○議長(公爵近衛篤麿君) 過半數ト認メマス

○子爵山井兼文君 直ニ第二讀會ヲ開カレコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ直ニ第二讀會ニ移ルコトニ致シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○子爵谷干城君 チヨット請求致シタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 此案ニ附イテ・スカ

○子爵谷干城君 イエ、此議事日程ノ仕舞ニ出テ居リマスル私ガ提出致シテ置キマシタ……

〔直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……〕ト述フル者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 暫ク御待下サイ

○子爵谷干城君 ……次ニ延スコトヲ請求致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレハ時機ガ早ウゴザイマス、直ニ第三讀會ニ移ルコトニ致シマス

〔子爵谷干城君〕コ・デハドウデゴザイマス」ト述フ

○議長(公爵近衛篤麿君) 今第三讀會ニ移ツテ居ル所デアリマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○子爵谷干城君 如何デス、コ・ナラバ宜シウゴザイマスカ、ドウゾ次ノ日程ニ上ナル、コトヲ希望致シマス、少シ提出者ニ都合ガゴザイマスカラ……
○議長(公爵近衛篤麿君) 一番後トノ日程デゴザイマスカ、之ヲ止メヤウト云フノデスカ

○子爵谷干城君 今日ハ止メヤウト云フノデス
○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ……臺灣事業公債法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、坊城伯爵

臺灣事業公債法中改正法律案外一件

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

右特別委員長

明治三十四年三月十九日

伯爵坊城俊章

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔伯爵坊城俊章君演壇ニ登ル〕

○伯爵坊城俊章君 諸君、臺灣事業公債法中改正ノコトニ附キマシテ委員會ノ經過ヲ報告致シマス、是ハ委員會ニ付セラレマシテ委員ハ調査ヲ致シマシタル所、一二ノ質問ハゴザイマシタガ、其質問ハ報告スルマデノ事ハゴザイマセナシ、一年ト云フノヲ三年ニ改メルト云フノデアリマシテ、是ハ御手許ニ上ガツテ居リマスル通ノ理由ニ外ナラヌノデゴザイマス、如何ニモ一年ニシテハ爲シ得ラレス、三年ノ年限ニ換ヘタイトト云フダケノコトデゴザイマス、政府委員ノ説明モソレダケノ事デ外ニ何モゴザイマセヌヤウナコトデ、尙ホ御質問モゴザイマスルナレバ政府委員ニ質問ヲ願ヒマス、サリナガラ是ハ簡單ノ問題デアリマスカラ讀會ヲ省略セラレマシテ速ニ可決セラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ贊成ハ十人以上アッタト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略致シマス、之ニ御異議ガナケレバ本案ハ原案ノ通ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 明治三十二年法律第一百一號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔伯爵坊城俊章君演壇ニ登ル〕

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十四年三月二十日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

司法大臣男爵金子堅太郎

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案 第一讀會ノ續 確定議
トヲ得

〔政府委員波多野敬直君演壇ニ登ル〕

○伯爵坊城俊章君 是モ同ジク昨日委員會ヲ開キマシテゴザイマス、其結果ヲ報告致シマス、是ハ法律第一百一號ト云フモノハ是マデゴザイマセヌノデゴザイマス、何ゼニ此度之ヲ入レマシタカト申スノハ、外國等ニ莫リマスル所ノ便宜ガアラウ、即チ募ルベキヤウナモノガアル、ソレガタメニ之ヲ此法中ニ入置クノ便利ヲ見タ、ソレダケノ話デゴザイマス、此度之ヲ入レルト云フコトニシマシタ、尙ホ右ニ附キマシテ御質問等モゴザイマスレバ政府委員ニ御質問ヲ願ヒマス、サリナガラ是モ矢張簡單ナ案デゴザイマスカラ、ドウゾ前同様ニ各讀會ヲ省略サレマシテ速ニ御議決アルコトヲ希望シマス

〔「賛成」ト呼フ者多シ〕
○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ動議ハ成立ツタヤウデゴザイマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ

○天春文衛君 此次ハ第十ノ……

○議長(公爵近衛篤麿君) チヨット御待下さい、マダ讀會省略ノ議ガ極ッタダ

ケデ本案ハ決シテ居リマセヌ、御異議ガナケレバ本案ハ可決ト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○名村泰藏君 先程司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案、是ハ最モ必要ナモノデアリマシテ急ヲ要スルモノト認メマスカラ議事日程ヲ變更シテ此處デ御議シニナルヤウニ願ヒタイ、ドウゾ皆様御賛成ヲ……

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 唯今ノ名村君ノ動議ニ御異議ガアリマセヌケレバ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ之ヲ議題ニシマス、司法官試補實地修習期

間ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案

右

右本院提出案及送付候也

明治三十四年三月十八日

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

衆議院議長片岡健吉

民法中左ノ通改正ス

民法第三百七十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ抵當權者カ債務ノ不履行ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請

求スル權利ヲ有スル場合ニ於テ其最後ノ二年分ニ付テモ亦之ヲ適用ス但

利息其他ノ定期金ト通シテ二年分ヲ超ユルコトヲ得ス

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君)此案ハ衆議院提出ノ案デアリマスガ、御参考ノタ

メニ之ニ對スル政府ノ意見ヲ申上ダヤウト思ヒマス、此改正案ハ民法第三百

七十四條ニ一項ヲ加ヘルト云フ案デアリマシテ、政府ノ見ル所デハ此規定ハ

ナクトモ現行法ノ儘デ同一ノ解釋ニナルベキトハ思ヒマスケレドモ、既ニ大

審院ニ於テ反對ノ判決例ガアリマスルノデ、ソレデ此法案ガ出マシタ次第デ

アリマスカラ、即チ民法ノ趣意ヲ變更スルノデハナイ、多少疑アッテ反對ノ判

決例ヲモ招イタ次第デアリマスカラ、之ヲ明ニシヤウト云フ案デアリマスカ

ラ、政府ハ別ニ反對ヲ致シマセヌ、但シ衆議院ニ於テ提出ニナリマシタ原案

ニハ大分瑕玼ガアリマシタガ、即チ修正ニナリマシテ衆議院カラコチラニ

回ツタ案ハ政府ニ於テハ反對ハナイノデゴザイマス

第九條ニ左ノ一項ヲ加フ

調査委員會閉會後第三種ノ所得アル者新ニ納稅義務アルコトヲ申出タル

トキハ政府其ノ所得金額ヲ決定ス

第四十條 山林ノ所得ヲ除クノ外第三種ノ所得ニ付納稅義務アル者所得金

額四分ノ一以上ヲ減損シタルトキハ政府ニ申出テ所得金額ノ更訂ヲ求ム

ルコトヲ得但シ翌年一月三十日ヲ過クルトキハ所得金額ノ更訂ヲ求ム

ルコトヲ得ス

所得金額決定後贈與ヲ爲シタル爲所得金額ヲ減損シタル場合ニハ前項ヲ

適用セス

第四十三條ヲ第四十三條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四十三條ノ二 第三種ノ所得ニ付二箇以上ノ稅務署管内ニ於テ所得金

額ノ決定アリタルトキハ政府ハ納稅者ノ住所地若住所ナキトキハ居住

地以外ニ於ケル所得金額ノ決定ヲ取消スヘシ

附則

此ノ法律ハ明治三十四年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君)此衆議院提出ノ案ハ大體舊來存スル所ノ法律

ノ不分明ノ點ヲ修正致シマシタコトデ、至極適當ナ案デゴザイマス、唯其中此

第四條中ニ於キマシテ控除スベキ事項ノ中ニ不確定ナル賞與金ノ一項ヲ加ヘ

マシタダケハ政府ニ於テ同意致シテ居リマセヌ、他ハ速ニ此修正ノ成立タン

コトヲ希望シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤麿君)委員選舉ニ移リマス、是モ議長指名ノ委員デ宜シ

ウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君)ソレデハ本日ノ議事ハ是ニテ終リマシタ、御委託

ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道シマス

〔太田書記官長朗讀〕

内務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律案

特別委員

子爵堤 功 長君 子爵綿織 敦久君 子爵梅小路 定行君
男爵松平 正直君 石井省一郎君 渡元君

中島 永元君

古市公威君

五十嵐甚藏君

所得稅法中改正法律案特別委員

子爵松平 乘承君 子爵久松 定弘君 子爵青木 信光君

松岡 康毅君

男爵有地 品之允君

男爵吉川 重吉君

武井 守正君

天春文衛君

角田林兵衛君

民法中改正法律案特別委員

子爵唐橋 在正君 子爵黒田 和志君 男爵尾崎 三良君

三好 退藏君

名村 泰藏君

男爵生駒 親忠君

富井 政章君

安廣伴一郎君

櫻井三郎右衛門君

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案特別委員

伯爵德川 達孝君 子爵本莊 壽巨君 子爵丹羽 長保君

名村 泰藏君

男爵中川 興長君

石井 忠恭君

兒玉淳一郎君

下條正雄君

五十嵐甚藏君

○議長(公爵近衛爲鷹君) 今日八散會

午後三時三十二分散會